ネットワークオーディオプレーヤー

N-50
N-30

Made for iPod iPhone iPad

インターネットによるお客様登録のお願い

http://pioneer.jp/support/

このたびは、パイオニア製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
弊社では、お買い上げいただいたお客様に「お客様登録」をお願いしています。上記アドレスからご登録いただくと、ご使用の製品についての重要なお知らせなどをお届けいたします。
なお、上記アドレスは、困ったときのよくある質問や各種お問い合わせ先の案内、カタログや取扱説明書の閲覧など、お客様のお役に立てるサービスの提供を目的としたページです。

取扱説明書

安全上のご注意

● 安全にお使いいただくために、必ずお守りください。
● ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

この取扱説明書および製品には、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△ 記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⊘ 記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

● 記号は行動を強制したり指示したりする内容を示しています。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

⚠ 警告

異常時の処置

● 万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

● 万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

● 万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

設置

● 電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

● 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。また、電源コードが引っ張られないようにしてください。コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。

● 放熱をよくするため他の機器、壁等から間隔をとり、またラックに入れる時はすき間をあけてください。また、次のような使い方で通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
→ あおむけや横倒し、逆さまにする。
→ 押し入れなど、風通しの悪い狭いところに押し込む。
→ じゅうたんやふとんの上に置く。
→ テーブルクロスなどをかける。

● **着脱式の電源コード（インレットタイプ）が付属している場合のご注意：**付属の電源コードはこの機器のみで使用することを目的とした専用部品です。他の電気製品ではご使用になれません。他の電気製品で使用した場合、発熱により火災・感電の原因となることがあります。また電源コードは本製品に付属のもの以外は使用しないでください。他の電源コードを使用した場合、この機器の本来の性能が出ないことや、電流容量不足による発熱から火災・感電の原因となることがあります。

● 本機の上に火がついたろうそくなどの裸火を置かないでください。火災の原因となります。

使用環境

● この機器に水が入ったり、ぬれたりしないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

● 風呂場・シャワー室等では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

● 表示された電源電圧（交流 100 ボルト 50 Hz/60 Hz）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

● この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。

使用方法

● 本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

● ぬれた手で（電源）プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

● 本機の通風孔などから、内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

● 本機のカバーを外したり、改造したりしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。

● 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）、販売店に交換をご依頼ください。

● 雷が鳴り出したらアンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

⚠ 注意

設置

● 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

● 電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

● ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

● 本機を調理台や加湿器のそばなど油煙、湿気あるいはほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

● テレビ、オーディオ機器、スピーカー等に機器を接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。

● 本機の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

● 本機の上にテレビを置かないでください。放熱や通風が妨げられて、火災や故障の原因となることがあります。（取扱説明書でテレビの設置を認めている機器は除きます。）

● 電源プラグを抜く時は、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

● 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

● 移動させる場合は、電源スイッチを切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから、行ってください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

● 本機の上にテレビやオーディオ機器をのせたまま移動しないでください。倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。重い場合は、持ち運びは２人以上で行ってください。

● 窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。火災の原因となることがあります。

使用方法

● 音が歪んだ状態で長時間使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

● 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様はご注意ください。倒れたり、壊れたりしてけがの原因になることがあります。

● 旅行などで長期間ご使用にならない時は安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

● 小さな部品はお子様や幼児の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込んだ場合は、ただちに医師にご連絡ください。

電池

- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

- 電池を機器内に挿入する場合､極性表示（プラス（＋）マイナス（－）の向き）に注意し、表示どおりに入れてください。間違えると電池の破裂､液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

- 長時間使用しない時は、電池を取り出しておいてください。電池から液が漏れて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液が漏れた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また万一、漏れた液が身体についた時は、水でよく洗い流してください。

- 電池は加熱したり分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液漏れにより、火災、けがの原因となることがあります。

保守・点検

- 5 年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うとより効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談ください。

- お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

本機の使用環境について
本機の使用環境温度範囲は5 ℃～35 ℃､使用環境湿度は85 %以下(通風孔が妨げられていないこと)です。
風通しの悪い所や湿度が高すぎる場所､直射日光(または人工の強い光)の当たる場所に設置しないでください。
D3-4-2-1-7c_A1_Ja

- 取扱説明書に掲載しているイラストは説明のために変更、簡略化しています。実際の表示とは異なることがあります。

このたびは、パイオニア製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
本機の機能を十分に発揮させて効果的にご利用いただくために、この取扱説明書をよくお読みになり、
正しくお使いください。特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。
なお、「取扱説明書」は、「保証書」、「ご相談窓口・修理窓口のご案内」と一緒に必ず保管してください。

もくじ

はじめに

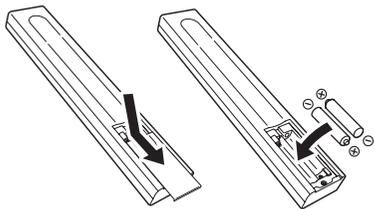
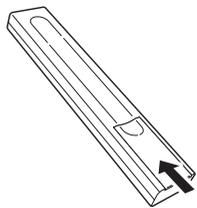
付属品を確認する

- リモコン × 1
- 単４形乾電池（AAA/R03）× 2
- オーディオコード
- 電源コード
- 保証書
- お知らせ
  （本機をはじめてご使用になるお客様へのお知らせ）
- 取扱説明書（本書）

リモコンを使う前に

電池を交換するときは

電池は単４形乾電池（AAA/R03）を使用します。

1　裏ブタを開いて、ケース内に表記されている極性に合わせて乾電池を入れる

2　裏ブタを閉める

本機に付属の電池は動作確認用のため、短期間で寿命となることがあります。電池を交換するときは、長期間使用可能な市販のアルカリ電池をお勧めします。

警告

- 電池を直射日光の強いところや、炎天下の車内・ストーブの前などの高温の場所で使用・放置しないでください。電池の液漏れ、発熱、破裂、発火の原因になります。また、電池の性能や寿命が低下することがあります。

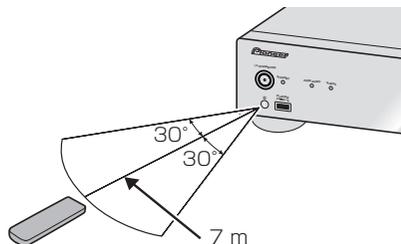
注意

電池を誤って使用すると、液漏れしたり破裂したりする危険性があります。以下の点について特にご注意ください。

- 電池でリモコンのマイナス端子を押し曲げないようにしてください。電池がショートする可能性があります。
- 新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池のプラス⊕とマイナス⊖向きを電池ケースの表示どおりに正しく入れてください。
- 電池は加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。
- 乾電池には同じ形状でも電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 長い間（1 か月以上）使用しないときは、電池の液漏れを防ぐために電池を取り出してください。もし、液漏れを起こしたときは、ケース内についた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。
- 不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示（条例）に従って処理してください。

リモコンの操作範囲

本機をリモコンで操作するときは、下記の範囲内でリモコンを前面のリモコン受光部に向けてください。

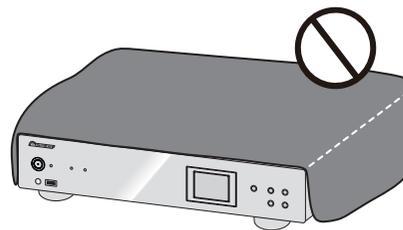
- リモコン受光部との間に障害物があったり、受光部との角度が悪いとリモコン操作ができない場合があります。
- 直射日光や蛍光灯の強い光がリモコン受光部に直接当たると、リモコン操作できないことがあります。そのようなときは、設置場所を変えたり、蛍光灯を離してください。
- 赤外線を出す機器の近くで本機を使用したり、赤外線を利用した他のリモコン装置を使用したりすると、誤動作することがあります。逆に赤外線によってコントロールされる他の機器を使用時にこのリモコンを操作すると、その機器を誤動作させることがあります。
- リモコンの操作可能範囲が極端に狭くなってきたら、電池を交換してください。

本機を設置する

本機を設置するときは、必ず平らで安定した面に設置してください。

- 次のような場所には本機を設置しないでください。
  - テレビの上（映像が歪むことがあります）
  - カセットデッキまたは磁気を発する機器の近く（音声に悪影響を与えることがあります）
  - 直接日光のあたる場所
  - 湿気のある場所
  - 水がかかりやすい場所
  - 高温または低温の場所
  - 振動のある場所
  - ホコリやタバコの煙の多い場所
  - 台所など煙が出たり油を使用する場所
- ソファーなどの吸音性がある素材の上に本機を置くと、正しい音質が得られないことがあります。

設置について

注意

- 放熱のため、本機の上に物を置いたり、布やシートなどを被せた状態でのご使用は絶対におやめください。異常発熱により故障の原因となる場合があります。

- 本機を設置する場合には、壁から 10 cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して設置してください。ラックなどに入れるときには、本機の天面から 10 cm以上、背面から 10 cm以上、側面から 10 cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

iPod/iPhone/iPad などの携帯端末での本機の操作について

専用のアプリケーションを携帯端末にインストールすることで、携帯端末から本機をコントロールすることができます。
詳しくは、弊社ホームページより商品情報をご確認ください。
この専用のアプリケーションは予告なく変更または中止させていただく場合がございます。

接続する

⚠ 注意

- 機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてください。
- 電源コードは、機器の接続がすべて終わってから接続してください。

音声の接続について

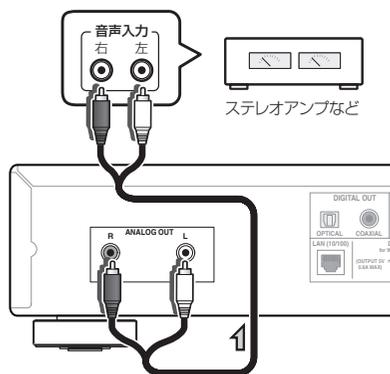
本機では音声信号の入力に、光デジタルまたは同軸デジタルコードを使用できます（N-50 のみ）。また、音声信号の出力には、光デジタル / 同軸デジタルまたはアナログ音声コードを使用できます。

端子とケーブルの種類		伝送可能な音声信号
同軸デジタル	光デジタル 光ファイバーケーブル	従来のデジタル音声
アナログ オーディオケーブル（赤/白）		従来のアナログ音声

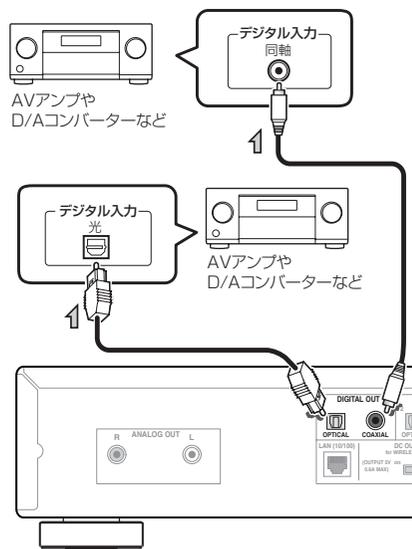
光ファイバーケーブルの取り扱いについて

- 急な角度に折り曲げないでください。保管するときは、直径が 15 cm 以上になるようにしてください。
- 接続の際は、端子の向きを合わせてしっかり奥まで差し込んでください。誤った向きでむりやり挿入すると、端子が変形し、ケーブルを抜いてもシャッターが閉まらなくなることがあります。

アナログ音声出力接続

本機のアナログ音声出力をアンプのアナログ音声入力に接続して、アンプ側で本機が出力するアナログ音声を楽しみます。

デジタル音声接続

デジタル音声出力接続

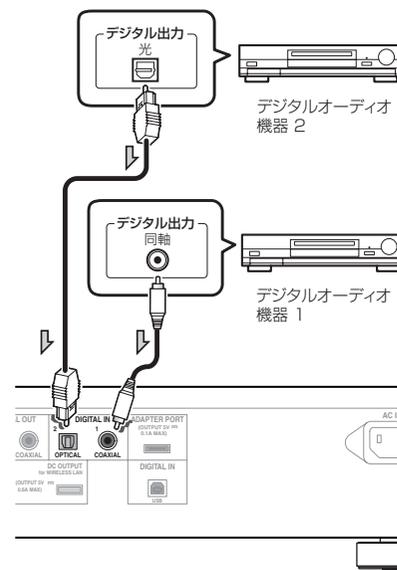
本機のデジタル音声出力を AV レシーバーや D/A コンバーターなどのデジタル音声入力に接続して、本機が出力するデジタル音声を楽しみます。

メモ

- 本機で出力できるデジタル信号は、サンプリングレートと量子化ビット数が 192 kHz/24 bit までのリニア PCM 信号です（接続機器や環境によっては動作しないことがあります）。
- 本機の **DIGITAL OUT** 端子から出力できるのは、iPod、Internet Radio、USB、Music Server、Digital In 1、Digital In 2 のデジタル音声信号です。

デジタル音声入力接続

N-50 のみ

デジタルオーディオ機器のデジタル音声出力と本機のデジタル音声入力を接続して、本機を D/A コンバーターとして使用することができます。

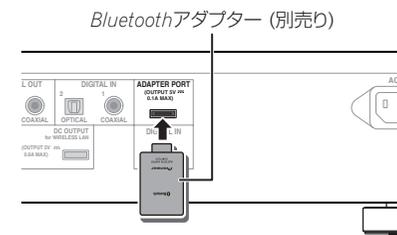
DIGITAL IN に入力された音声の出力について、詳しくは 16 ページの「本機を D/A コンバーターとして使用する」をご覧ください。

メモ

- 本機で入力できるデジタル信号は、サンプリングレートと量子化ビット数が 192 kHz/24 bit までのリニア PCM 信号です（接続機器や環境によっては動作しないことがあります）。

Bluetooth アダプターを接続する

別売りの *Bluetooth*® アダプター（AS-BT200）を本機に接続することで、*Bluetooth* 機能搭載機器（携帯電話、デジタル音楽プレーヤーなど）の音楽をワイヤレスで楽しむことができます。再生については、12 ページの「*Bluetooth* 機能搭載機器の音楽を楽しむ」をご覧ください。

重要

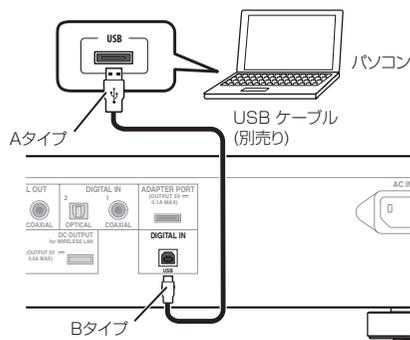
- *Bluetooth* アダプターを本機に接続した状態で、本機を移動させないでください。破損や接触不良の原因となります。

接続する

USB ケーブルを使ってパソコンと接続する

N-50 のみ

本機の **DIGITAL IN USB** 端子とパソコンの USB 端子を別売りの USB ケーブルで接続すると、本機を D/A コンバーターとして使用することができます。**DIGITAL IN USB** に入力された音声の出力について、詳しくは 16 ページの「本機を D/A コンバーターとして使用する」をご覧ください。

重要

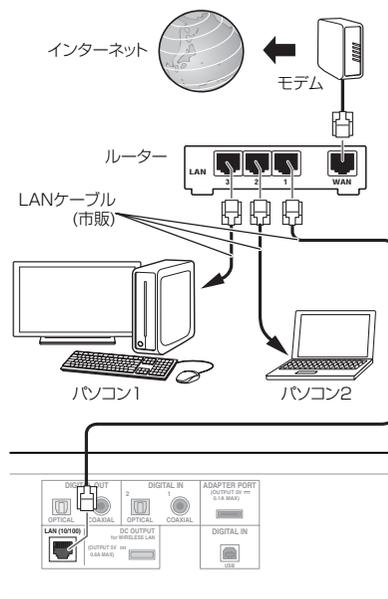
- この接続で、パソコンの音楽ファイルを本機で再生する場合、ご使用のパソコンに専用のドライバーをインストールする必要があります。詳しくはパイオニアのホームページをご覧ください。

メモ

- 接続するパソコンにメディアプレーヤーがインストールされていないと、本機で音声を入力することはできません。

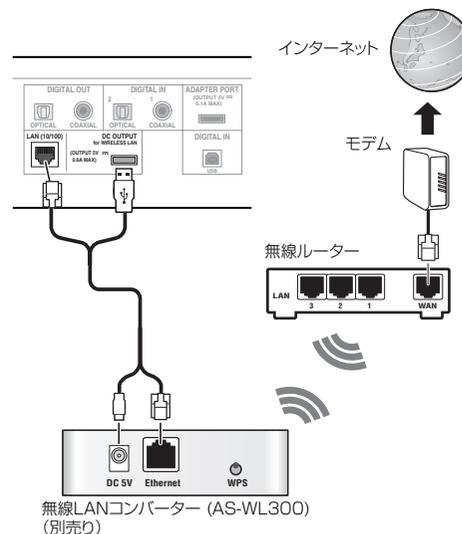
ネットワークに接続する

本機をネットワークに接続すると、パソコンなどのネットワークに接続された機器に保存されているファイルを再生したり、インターネットラジオを聞くことができます。

本機の LAN 端子とルーターの LAN 端子をストレート LAN ケーブル（CAT 5 またはそれ以上）で接続します。ルーターに DHCP サーバー機能があるときは、DHCP サーバー機能をオンにしてください。ルーターに DHCP サーバー機能がないときは、手動でネットワークの設定をします。（17 ページ）

LAN ケーブルで接続する

ワイヤレス LAN で接続する

無線 LAN コンバーターを接続してワイヤレスでネットワークに接続できます。接続には別売りの AS-WL300 をお使いください。

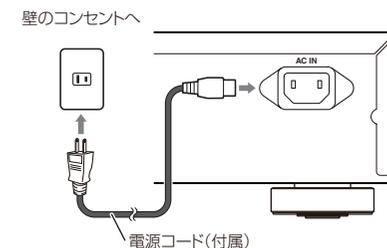
- 無線 LAN コンバーターの設定については、無線 LAN コンバーター (AS-WL300) の取扱説明書をご覧ください。

メモ

- インターネットラジオを聞くときは、インターネットサービスを提供しているプロバイダーとの契約・料金が別途必要です。
- 動画または静止画のファイルは再生できません。
- Windows Media Player 11 または Windows Media Player 12 をお使いのときは、本機では著作権保護された音楽ファイルも再生できます。

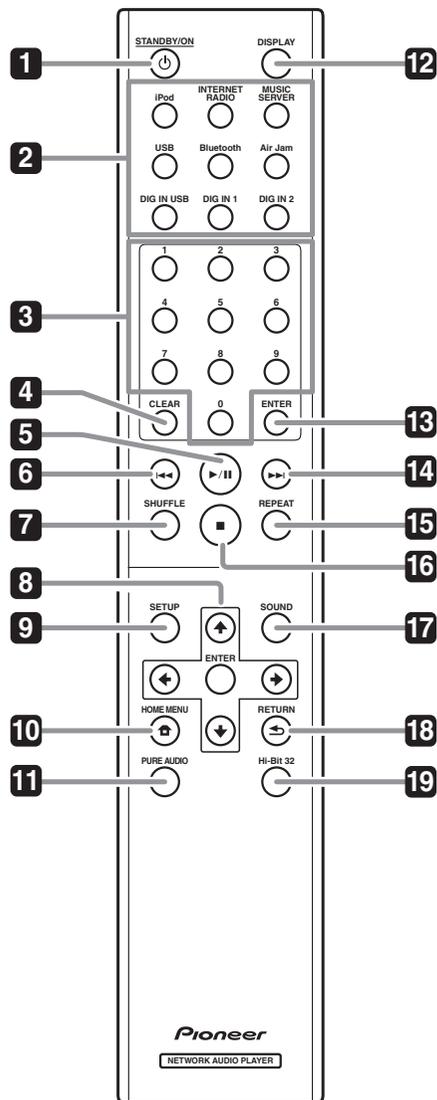
電源コードを接続する

電源コードを壁のコンセント（AC 100 V）に接続します。電源コードは、機器の接続がすべて終わってから接続してください。

重要

- 本機背面端子の接続を行うときは、電源をオフにしてから電源コードを抜いて行ってください。

1. **電源コード (付属) を本体背面部の AC IN 端子に接続する**
2. **電源プラグを壁のコンセントに接続する**

各部のなまえ

リモコン

1 ⏻ STANDBY/ON
本体の ⏻/I STANDBY/ON ボタンがオンの状態で動作します。押すごとにオンとスタンバイが切り換わります。

2 入力切換ボタン
本機の入力を切り換えます。
- DIG IN 1、DIG IN 2 および DIG IN USB 入力は N-50 のみ対応しています。

3 数字ボタン
ネットワークの設定などで数字を入力するときに使用します。

4 CLEAR
選んだ項目を取り消します。番号の入力を間違えたときなどに使用します。

5 ►/❚❚
再生を開始 / 一時停止します。

6 ❙◄◄
ファイルを頭出しします。
- 入力によっては再生中のファイルの頭出しができません。

7 SHUFFLE
iPod/iPhone/iPad、USB メモリー、またはミュージックサーバーのファイルを順不同に再生します。

8 ⬆/⬇/⬅/➡
項目を選んだり、設定を変更するときなどに使います。また、カーソルを移動します。
ENTER
選んだ項目を実行する、または変更した設定を確定するときなどに使います。

9 SETUP
本機の設定を変更するときに使います。（17 ページ）

10 HOME MENU
メニュー画面から再生するファイルを選ぶときに使います。

11 PURE AUDIO（N-50 のみ）
ボタンを押して PURE AUDIO モードにすることで、原音に忠実な再生を行います。（16 ページ）

12 DISPLAY
本機のディスプレイを消灯したいときに押します。何か操作があったときはディスプレイが点灯し、10 秒後に再び消灯します。
もう一度押すことで表示オフを解除します。

13 ENTER
入力した数字を決定するときに使います。

14 ►►❙
次のファイルに進みます。

15 REPEAT
iPod/iPhone/iPad、USB メモリー、またはミュージックサーバーのファイルを繰り返し再生します。

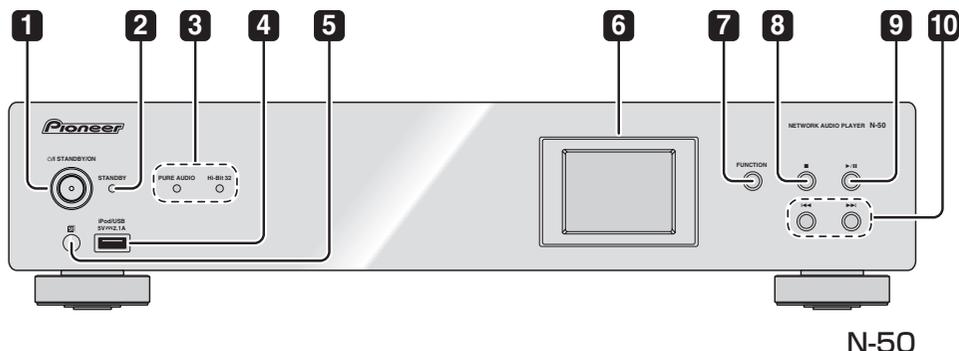
16 ■
再生を停止します。

17 SOUND（N-50 のみ）
オートサウンドレトリバー、オートレベルコントロール、Hi-bit 32 およびサウンドレトリバーエアー機能のオン / オフを切り換えるときに使用します。（16 ページ）
- サウンドレトリバーエアー機能は、入力が Bluetooth か Air Jam のときのみ設定できます。

18 RETURN
本体設定画面、またはセットアップ画面で、1 つ前の画面に戻ります。

19 Hi-Bit 32（N-50 のみ）
ボタンを押して SOUND モードの Hi-Bit 32 機能をオンにします。デジタル音声信号への、ダイナミックレンジの拡大と周波数方向の広帯域化を行い、より滑らかで繊細な再生を行います。（16 ページ）

各部のなまえ

本体前面部

1 ⏻/I STANDBY/ON
電源のオン / オフを切り換えます。
電源がオンのときは、ボタン中央のパワーインジケーターが点灯します。

2 STANDBY インジケーター
電源がスタンバイ状態のときに点灯します。

3 PURE AUDIO インジケーター（N-50 のみ）
PURE AUDIO モードがオンのときに点灯します。
Hi-Bit 32 インジケーター（N-50 のみ）
Hi-Bit 32 モードがオンのときに点灯します。

4 iPod/USB 端子
iPod/iPhone/iPad または USB メモリーを接続します。

5 リモコン受光部
5 ページの「リモコンの操作範囲」をご覧ください。

6 ディスプレイ

7 FUNCTION
本機の入力を切り換えます。ボタンを押すたびに、入力が下記の順に切り換わります。
iPod→Internet Radio→Music Server→USB→BT Audio→Air Jam→Digital In USB→Digital In 1→Digital In 2→（最初に戻る）

8 ■
再生を停止します。

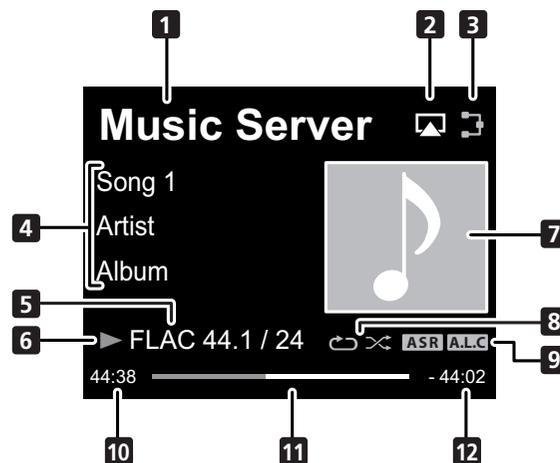
9 ►/II
再生を開始 / 一時停止します。

10 I◄◄
ファイルを頭出しします。
- 入力によっては再生中のファイルの頭出しができません。

►►I
次のファイルに進みます。

メモ
- iPod 以外の入力が選ばれている状態で、ディスプレイが再生表示をしていないときは、以下の本体ボタンで項目の選択や決定、戻るといった操作ができます。
- ►►I：⬇
- I◄◄：⬆
- ►/II：決定
- ■：戻る

注意
- 製品の仕様により、本体部やリモコンのスイッチを操作することで表示部がすべて消えた状態となり、電源プラグをコンセントから抜いた状態と変わらなく見える場合がありますが、電源の供給は停止していません。製品を電源から完全に遮断するためには、電源プラグ（遮断装置）をコンセントから抜く必要があります。製品はコンセントの近くで、電源プラグ（遮断装置）に簡単に手が届くように設置してください。電源プラグを長時間差したままにすると、火災の原因となることがあります。

ディスプレイ

1 入力名

2 AirPlay
AirPlay の再生中に表示されます。

3 ネットワーク接続状態
：ネットワークに接続しているときに表示されます。
：ネットワークに接続していないときに表示されます。

4 ファイル / アーティスト / アルバム / 放送局などの名前

5 ファイル情報
ファイル形式、サンプリングレートや量子化ビット情報を表示します。

6 再生状態

7 アートワーク
再生中のファイルにアルバムジャケットなどが記録されているときに表示されます。

8 リピート / シャッフル
：全曲リピート再生しているときに表示されます。
：1 曲リピート再生しているときに表示されます。
：シャッフル再生しているときに表示されます。

9 SOUND 機能インジケーター
ASR: オートサウンドレトリバー機能がオンのときに表示されます。
A.L.C: オートレベルコントロール機能がオンのときに表示されます。

10 再生経過時間

11 再生バー
再生経過時間に合わせてバーが伸びます。

12 再生残り時間

基本再生

初期設定

本機を初めて使うときに、下記の画面が表示されます。お好みに合わせて設定してください。

1　電源をオンにする

本体の ⏻/I STANDBY/ON ボタンを押します。
ボタン中央のパワーインジケーターがゆっくりと点滅します。
本機の電源がオンになり、20 秒ほどすると下記の画面が表示されます。電源をオンにしてから実際に起動するまでに 1 分程度かかります。

- [高速起動モード] を [On] に設定すると、電源をオンにしたときの起動時間を短縮できます。（18 ページ）

2　メニュー言語を選んで決定する

⬆/⬇ ボタンでお好きな言語を選んで、**ENTER ボタン**を押します。

初期設定は完了です。

iPod/iPhone/iPad の音楽を楽しむ

お手持ちの iPod/iPhone/iPad を本機に接続することができます。本機と接続しているときは、本機のリモコンおよび iPod/iPhone/iPad 本体で再生操作ができます。

接続できる iPod/iPhone/iPad を確認する

本機は**以下の iPod/iPhone/iPad の音声**の再生に対応しています。

iPod/iPhone/iPad	音声	操作
iPod nano 2/3/4/5/6G	○	○
iPod classic	○	○
iPod touch 1/2/3/4G	○	○
iPhone	○	○
iPhone 3G/3GS	○	○
iPhone 4	○	○
iPad	○	○
iPad 2	○	○

- 本製品は、パイオニアホームページに記載されている iPod/iPhone/iPad のソフトウェアバージョンに基づいて開発、テストされたものです。
- パイオニアホームページに記載されているバージョン以外のソフトウェアをお客様の iPod/iPhone/iPad にインストールした場合、本製品との互換がなくなる場合があります。

1　トップメニューから「設定」を選ぶ

iPod touch および iPhone では、「設定」→「一般」を選びます。

2　「情報」を選ぶ

ソフトウェアのバージョンが表示されます。

メモ

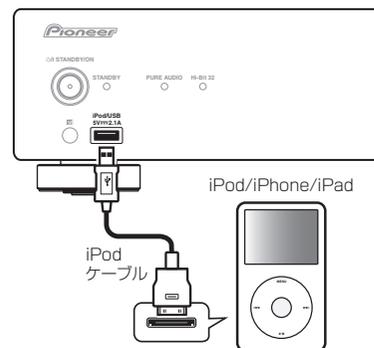
- 上記以外の iPod/iPhone/iPad の再生や操作は、保証いたしかねますのであらかじめご了承ください。
- iPod/iPhone/iPad のモデルやソフトウェアのバージョンによっては一部機能が制限されます。
- iPod/iPhone/iPad は、著作権のないマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを、個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。
- iPod/iPhone/iPad のイコライザーなどの機能は、本機で操作できません。イコライザーなどの機能はオフにしてから本機に接続することをお勧めします。
- 本機と iPod/iPhone/iPad を組み合わせてご使用の際、万一 iPod/iPhone/iPad のデータに不具合が生じても、データの補償はいたしかねますのであらかじめご了承ください。
- iPod/iPhone/iPad の機能および操作については、iPod/iPhone/iPad の取扱説明書をご覧ください。

iPod/iPhone/iPad を再生する

1　iPod 入力に切り換える

リモコンの **iPod ボタン**を押します。
本体の **FUNCTION ボタン**を繰り返し押すことでも入力を切り換えることができます。
ディスプレイに **iPod** が表示されます。

2　iPod/iPhone/iPad を本機に接続する

接続には iPod に付属の iPod ケーブルをお使いください。

- iPod/iPhone/iPad の接続については、iPod/iPhone/iPad に付属の取扱説明書もご覧ください。

本機のリモコンで、下記の操作ができます。

ボタン	動作
►/❚❚	再生を開始します。再生中は再生を一時停止します。
■	再生を一時停止します。
❙◄◄	ファイルを頭出しします。2 回押すと、1 つ前のファイルを頭出しします。
►►❙	次のファイルを頭出しします。
SHUFFLE	iPod/iPhone/iPad のファイルを順不同に再生します。[*1]
REPEAT	iPod/iPhone/iPad のファイルを繰り返し再生します。[*1, 2]

[*1] ディスプレイにアイコンは表示されません。
[*2] 押すたびに 1 曲リピート、全曲リピート、リピートオフが切り換わります。

[オートパワーオフ] を [On] に設定しているときは、iPod/USB 端子に何も接続していない、または再生していない状態で、iPod 入力のまま 30 分以上操作がないと、電源が自動でオフになります。

重要

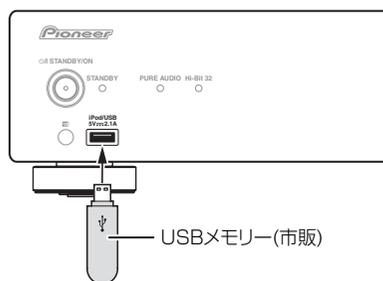
- iPod/iPhone/iPad が再生できないときは、下記の項目を確認してください。
  - ― 本機で対応している iPod/iPhone/iPad か確認してください。
  - ― iPod/iPhone/iPad を接続し直してください。それでも動作しないときは、iPod/iPhone/iPad をリセットしてください。
  - ― iPod/iPhone/iPad のソフトウェアが、本機で対応しているバージョンか確認してください。詳しくはパイオニアホームページをご覧ください。
- iPod/iPhone/iPad が操作できないときは、下記の項目を確認してください。
  - ― iPod/iPhone/iPad が正しく接続しているか確認してください。
  - ― iPod/iPhone/iPad 本体が操作できるか確認してください。操作できないときは、iPod/iPhone/iPad をリセットして接続し直してください。

メモ

- 本機の電源がオンのときは、本機に接続されている iPod/iPhone/iPad が充電されます。
- 本機の入力を iPod 以外に切り換えると、iPod/iPhone/iPad の再生が自動で一時停止になります。

USB メモリーのファイルを再生する

1　USB 入力に切り換える
リモコンの **USB ボタン**を押します。
本体の **FUNCTION ボタン**を繰り返し押すことでも入力を切り換えることができます。
ディスプレイに USB が表示されます。

2　USB メモリーを接続する

USBメモリー(市販)

USB メモリーにあるフォルダー / ファイルがディスプレイに自動で表示されます。

3　ファイルを選んで決定する
⬆/⬇ ボタンで選んで、**ENTER ボタン**を押します。
再生が始まります。

- 1 つ前の画面に戻るには、**RETURN ボタン**を押します。
- 他の入力に切り換えるときは、USB メモリーの再生を停止してから切り換えてください。
- USB メモリーは、本機の電源をオフ（スタンバイ）にしてから取り外してください。

本機のリモコンで、下記の操作ができます。再生の状態によっては、下記の操作ができないことがあります。

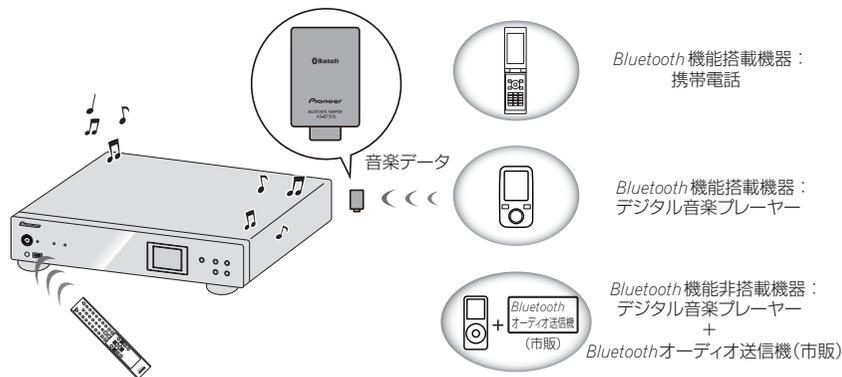
ボタン	動作
►/II	一時停止を解除して、再生を開始します。ファイル選択画面で押すと、現在再生中の画面が表示されます。再生中は再生を一時停止します。
■	再生を停止します。
I◄◄	1 つ前のファイルを頭出しします。
►►I	次のファイルを頭出しします。
SHUFFLE	USB メモリーのファイルを順不同に再生します。
REPEAT	USB メモリーのファイルを繰り返し再生します。*
➡	ファイル選択画面で押すと、現在再生中の曲の画面が表示されます。
RETURN	再生中の画面が表示されているときに押すと、ファイル選択画面が表示されます。

* 押すたびに 1 曲リピート（）、全曲リピート（）、リピートオフが切り換わります。

[オートパワーオフ] を [On] に設定しているときは、USB メモリーを再生していない状態で、USB 入力のまま 30 分以上操作がないと、電源が自動でオフになります。

メモ

- 本機が USB メモリーを認識しない、ファイルが再生できない、電源が供給されないなどの症状が起こることがあります。詳しくは 20 ページをご覧ください。
- ファイル形式によっては、タグ情報（アーティスト名やアルバム名、アートワークなど）が表示できないことがあります。
- USB メモリーに保存されたすべてのファイルを再生できなかったり、USB メモリーに電源が供給されないことがあります。また、本機と USB メモリーを組み合わせてご使用の際、万一 USB メモリーのデータに不具合が生じてもデータの補償はいたしかねますのであらかじめご了承ください。
- 本機は USB ハブには対応していません。

Bluetooth 機能搭載機器の音楽を楽しむ

ワイヤレスで音楽を楽しむ

別売りの *Bluetooth* アダプター（AS-BT200）を本機に接続することで、*Bluetooth* 機能搭載機器（携帯電話、デジタル音楽プレーヤーなど）の音楽をワイヤレスで楽しむことができます。市販の *Bluetooth* オーディオ送信機を使って、*Bluetooth* 機能非搭載機器の音楽を楽しむこともできます。詳しくは、*Bluetooth* 機能搭載機器の取扱説明書をご覧ください。

本機は SCMS-T コンテンツ保護方式に対応しています。SCMS-T コンテンツ保護方式に対応した *Bluetooth* 機能搭載機器の音楽を再生できます。

メモ

- 本機で *Bluetooth* 機能搭載機器の音楽を再生するには、*Bluetooth* 機能搭載機器がプロファイル：A2DP に対応している必要があります。
- すべての *Bluetooth* 機能搭載機器との接続動作を保証するものではありません。
- *Bluetooth*® ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、パイオニア株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。他のトレードマークおよび商号は、各所有権者が所有する財産です。

リモコンでの操作

本機に付属のリモコンで、*Bluetooth* 機能搭載機器を操作できます。

メモ

- 本機のリモコンで操作するには、*Bluetooth* 機能搭載機器がプロファイル：AVRCP に対応している必要があります。
- すべての *Bluetooth* 機能搭載機器に対するリモコン操作を保証するものではありません。

Bluetooth アダプターの接続について

1　本機の電源をスタンバイ状態にしてから *Bluetooth* アダプターを接続する

詳しくは 6 ページをご覧ください。

2　本機の電源をオンにする

リモコンの ⏻STANDBY/ON ボタンを押します。

3　BT オーディオ入力に切り換える

リモコンの Bluetooth ボタンを押します。
本体の FUNCTION ボタンを繰り返し押すことでも入力を切り換えることができます。
ディスプレイに BT Audio が表示されます。

- *Bluetooth* アダプターが接続されていない状態で BT オーディオ入力を選ぶと、「対応の BT アダプターが装着されていません」とディスプレイに表示されます。

本機の PIN コードを設定する

PIN コードとは、*Bluetooth* 機能搭載機器とペアリングするときに使用する暗証番号のことです。本機の PIN コードを *Bluetooth* 機能搭載機器と同じ PIN コードに設定します。本機で設定可能な PIN コードは、0000/1234/8888 のいずれかです。
Bluetooth 機能搭載機器が SSP (Secure Simple Pairing) に対応しているときは暗証番号の設定は必要ありません。BT オーディオ入力に切り換え後、*Bluetooth* 機能搭載機器側でペアリング操作を行ってください。

- 工場出荷時の設定：0000

1　BT オーディオ入力に切り換える

リモコンの Bluetooth ボタンを押します。
本体の FUNCTION ボタンを繰り返し押すことでも入力を切り換えることができます。
ディスプレイに BT Audio が表示されます。

2　オプション設定画面を表示する

SETUP ボタンを押します。

3　[オプション設定] → [BT PIN 切替] を選んで決定する

⬆/⬇ ボタンで選んで、ENTER ボタンを押します。

4　PIN コードを選んで決定する

⬆/⬇ ボタンで選んで、ENTER ボタンを押します。

本機と *Bluetooth* 機能搭載機器をペアリングする（初期登録）

Bluetooth アダプターを使用して *Bluetooth* 機能搭載機器の音楽を楽しむために、ペアリングを行う必要があります。最初に *Bluetooth* 機能搭載機器を使用するとき、または *Bluetooth* 機能搭載機器側のペアリングデータを消去したときは、ペアリングを行ってください。
ペアリングは *Bluetooth* 無線技術を利用した通信を可能にするために必要な手順です。詳しくは、*Bluetooth* 機能搭載機器の取扱説明書をご覧ください。

1　BT オーディオ入力に切り換える

リモコンの Bluetooth ボタンを押します。
本体の FUNCTION ボタンを繰り返し押すことでも入力を切り換えることができます。
ディスプレイに BT Audio が表示されます。

2　ペアリングしたい *Bluetooth* 機能搭載機器の電源をオンにして本機の 1 m 以内に置いて、ペアリング操作を行う

ペアリングが開始されます。

- *Bluetooth* 機能搭載機器のペアリング可能な状態や接続操作などについては、*Bluetooth* 機能搭載機器の取扱説明書をご覧ください。

3　*Bluetooth* 機能搭載機器がペアリングされたことを確認する

- 本機と *Bluetooth* 機能搭載機器が接続されないときは、*Bluetooth* 機能搭載機器側で接続操作をしてください。

メモ

- ペアリングは、*Bluetooth* 機能搭載機器を使用する際に、はじめに 1 回だけ行います。
- *Bluetooth* を利用した通信を行うために、ペアリングは本機と *Bluetooth* 機能搭載機器の両方で行う必要があります。
- ペアリングで表示される本機の名称は [AS-BT200] です。

Bluetooth 機能搭載機器の音楽を本機で聴く

1 BT オーディオ入力に切り換える

リモコンの **Bluetooth ボタン**を押します。本体の **FUNCTION ボタン**を繰り返し押すことでも入力を切り換えることができます。
ディスプレイに **BT Audio** が表示されます。

2 *Bluetooth* 機能搭載機器と本機を接続する

- 接続操作については、「本機と *Bluetooth* 機能搭載機器をペアリングする（初期登録）」（12 ページ）をご覧ください。

3 *Bluetooth* 機能搭載機器の音楽を再生する

本機のリモコンで、下記の操作ができます。

ボタン	動作
►/❚❚	再生を開始します。再生中は再生を一時停止します。
■	再生を停止します。
❙◄◄	ファイルを頭出しします。２回押すと、１つ前のファイルを頭出しします。
►►❙	次のファイルを頭出しします。

[オートパワーオフ] を [On] に設定しているときは、*Bluetooth* 機能搭載機器を接続していない状態で、BT オーディオ入力のまま 30 分以上操作がないと、電源が自動でオフになります。

メモ

- 本機のリモコンで操作するには、*Bluetooth* 機能搭載機器がプロファイル：AVRCP に対応している必要があります。
- すべての *Bluetooth* 機能搭載機器に対するリモコン操作を保証するものではありません。

Air Jam

Air Jam はパイオニアが開発した無料アプリケーションです。
Air Jam は異なる機器内にある音楽をひとつのプレイリストとして登録し、*Bluetooth* 機能を使って本機で再生できるアプリです。友人同士でそれぞれお持ちの対応機器にある音楽の中から、お好みの曲を Air Jam のプレイリストに登録できます。

1 Air Jam 入力に切り換える

リモコンの **Air Jam ボタン**を押します。本体の **FUNCTION ボタン**を繰り返し押すことでも入力を切り換えることができます。
ディスプレイに **Air Jam** が表示されます。

Air Jam について詳しくは、下記のホームページをご覧ください。

iOS 版
http://pioneer.jp/product/soft/iapp_airjam/jp.html
Android 版
http://pioneer.jp/product/soft/andr_airjam/jp.html

インターネットラジオを楽しむ

インターネットラジオを聞く

ネットワークに接続する

詳しくは 7 ページをご覧ください。

初めてインターネットラジオを聞く

初めてインターネットラジオを聞くときに、お好みの放送局を設定します。

1 インターネットラジオ入力に切り換える
リモコンの INTERNET RADIO ボタンを押します。
本体の FUNCTION ボタンを繰り返し押すことでも入力を切り換えることができます。
ディスプレイに Internet Radio が表示されます。

2 [ラジオ局を探す] を選んで決定する
⬆/⬇ ボタンで選んで、ENTER ボタンを押します。

3 放送局を選んで決定する
⬆/⬇ ボタンで選んで、ENTER ボタンを押します。

 メモ

- 放送局選択画面で ➡ を押すと、再生中の曲の画面が表示されます。

放送局を選局する

1 インターネットラジオ入力に切り換える
リモコンの INTERNET RADIO ボタンを押します。
本体の FUNCTION ボタンを繰り返し押すことでも入力を切り換えることができます。
- ディスプレイに前回選局した放送局の情報が表示されます。

2 メニュー画面を表示する
HOME MENU ボタンを押します。

3 [ラジオ局を探す] または [Favorites] を選んで決定する
⬆/⬇ ボタンで選んで、ENTER ボタンを押します。
- [Favorites] に登録されていない放送局を探すときは、[ラジオ局を探す] を選びます。
- すでに登録した放送局を選ぶときは、[Favorites] を選びます。
- [Favorites] の登録方法は、下記をご覧ください。

4 放送局を選んで決定する
⬆/⬇ ボタンで選んで、ENTER ボタンを押します。
- [ラジオ局を探す] を選んだときは、インターネットラジオメニューから選局します。

お好みの放送局を登録する (Favorites)

1 [ラジオ局を探す] で選局する
- 詳しくは「放送局を選局する」(上記) をご覧ください。
- ディスプレイに放送局の情報が表示されます。

2 放送局を登録する
ENTER ボタンを数秒間押し続けます。[Favorites] に放送局が登録されます。
- [Favorites] には最大 20 局まで登録できます。20 局すべてが登録されている状態では、「登録できる件数を超えるため追加できません」と表示され登録することはできません。

登録した放送局をリストから消去する

1 メニュー画面を表示する
HOME MENU ボタンを押します。

2 [Favorites] を選んで決定する
⬆/⬇ ボタンで選んで、ENTER ボタンを押します。

3 消去したい放送局を選んで決定する
⬆/⬇ ボタンで選んで、ENTER ボタンを押します。

4 [消去] を選んで決定する
⬆/⬇ ボタンで選んで、ENTER ボタンを押します。
確認画面で ENTER ボタンを押します。
- 消去を取り消したいときは、確認画面で RETURN ボタンを押します。

メモ

- 上記手順 4 で「上へ移動」または「下へ移動」を選んで ENTER ボタンを押すことで、登録した放送局を移動させることもできます。

インターネットラジオの詳細設定

パイオニア専用サイトから vTuner のリストにない放送局を登録する

本機では vTuner から配信される放送局リストにない放送局を登録し、再生できます。本機で登録に必要なアクセスコードを確認し、そのアクセスコードを使ってパイオニア専用のインターネットラジオサイトにアクセスして、お気に入りの放送局の登録などをします。パイオニア専用のインターネットラジオサイトは下記のアドレスです。
http://www.radio-pioneer.com

1 メニュー画面を表示する
「初めてインターネットラジオを聞く」(上記) の手順 1 ～ 3 の操作をします。

2 [Help] を選んで決定する
⬆/⬇ ボタンで選んで、ENTER ボタンを押します。

3 [Get Access Code] を選んで決定する
⬆/⬇ ボタンで選んで、ENTER ボタンを押します。
アクセスコードが表示されます。メモしてください。

4 お手持ちのパソコンでパイオニア専用のインターネットラジオサイトへアクセスし、登録操作を行う
上記サイトへアクセスし、手順 3 のアクセスコードを使い、画面に従ってユーザー登録をします。

5 パソコンの画面に従って、お気に入りの放送局を登録する
vTuner のリストにある放送局はもちろん、vTuner の放送局リストにない放送局も登録できます。

6 登録された放送局を確認する
「放送局を選局する」(上記) 手順 3 の [Favorites] で確認できます。

メモ

- 「Help」画面では以下の点を確認できます。
  - — Get access code
    パイオニア専用インターネットラジオサイトの登録に必要なアクセスコードが表示されます。
  - — Show Your WebID/PW
    パイオニア専用インターネットラジオサイトで登録したあと、登録された ID とパスワードが表示されます。
  - — Reset Your WebID/PW
    パイオニア専用インターネットラジオサイトで登録した内容をすべてリセットします。リセットすると登録した放送局もすべて消えてしまいますので、同じ放送局を聞きたいときはリセット後、登録をし直してください。

ミュージックサーバーで音楽を楽しむ

はじめに

パソコンなどに保存されているたくさんの音楽ファイルを本機で再生できます。お手持ちのネットワーク機器の取扱説明書とあわせてご確認ください。

- 画像 / 動画ファイルは再生できません。
- Windows Media Player 11 または Windows Media Player 12 をお使いの場合、本機では著作権保護のかかっている音楽ファイルも再生できます。

DLNA に準拠した機器の再生について

本機は下記の機器に保存されているネットワーク上の音楽ファイルを再生できます。

- OS が Microsoft Windows Vista または XP Service Pack 3 で、Windows Media Player 11 がインストールされているパソコン
- OS が Microsoft Windows 7 で、Windows Media Player 12 がインストールされているパソコン
- DLNA1.0 または DLNA1.5 に準拠したメディアサーバー（パソコンやネットワーク型ハードディスクなど）

上記のパソコンまたは、DLNA 認証を受けたサーバー（DMS:Digital Media Server) に保存されているファイルは、DLNA 認証を受けた DMC（Digital Media Controller）と呼ばれる外部コントローラーからの指示で再生できます。この DMC からコントロールされ、ファイルを再生する機器を DMR（Digital Media Renderer) と呼びます。本機はこの DMR に対応しています。

本機を DMR として選んで DMS の再生を開始すると、本機の入力が自動で DMR に切り換わります。DMR 入力では、現在再生中のファイル名、アーティスト名、アルバム名、アルバムアートワークが、本機のディスプレイに表示されます。（再生しているファイルによっては、表示されないこともあります。）

DMR 動作中は、外部コントローラーからの操作によりファイルの再生、停止などが可能となります。

DMR 再生中に、**FUNCTION ボタン**を押すと、DMR 再生を終了します。

iPod touch、iPhone、iPad、iTunes で AirPlay を使うには

本機は、iPod touch (第 2、第 3、第 4 世代)/iPhone 4/iPhone 3GS/iPad/iPad 2 の iOS 4.2 以降、iTunes 10.1 以降 (Mac またはパソコン) からの AirPlay の音声ストリーミングに対応しています。

AirPlay を楽しむには、iPod touch、iPhone、iPad、iTunes で本機を選びます。*1

AirPlay が開始されると、本機の入力が AirPlay に自動で切り換わります。

AirPlay 動作中は、以下の操作や表示ができます。

- 本機のリモコン操作での一時停止 / 再開、スキップ、シャッフル / リピート *2
- アーティスト名、曲名、アルバム名を含む再生中の情報を表示 *3
- AirPlay 再生中に、**FUNCTION ボタン**を押すと、AirPlay 再生を終了します。

*1 iPod touch、iPhone、iPad や iTunes の操作は、Apple 社のホームページを参照してください。http://www.apple.com

*2 ディスプレイに再生状態、リピート / シャッフルのアイコンは表示されません。

*3 曲名以外は表示されないことがあります。

メモ

- AirPlay を使うにはネットワーク環境が必要です。
- 本機の名前が iPod touch、iPhone、iPad、iTunes 上に再生機器として表示されます。また、[ネットワーク設定] の [フレンドリーネーム] で本機の名前を変更できます。（18 ページ）
- 本機に搭載されている AirPlay 機能は、パイオニアホームページに記載されている iPod、iPhone、iPad のソフトウェアバージョンおよび、iTunes のソフトウェアバージョンに基づいて開発、テストされたものです。パイオニアホームページに記載されているバージョン以外の iPod、iPhone、iPad のソフトウェアまたは iTunes を使用した場合、AirPlay 機能の互換性がなくなる場合があります。

DHCP サーバー機能について

ネットワーク上の機器に保存されている音楽ファイルやインターネットラジオを再生するには、ルーターの DHCP サーバー機能が ON になっている必要があります。DHCP サーバー機能がないルーターの場合はネットワークの設定を行わなければネットワーク上の音楽ファイルやインターネットラジオの再生ができません。詳しくは 17 ページの「ネットワークの設定をする」をご確認ください。

接続しているサーバーに本機を認証させる

ミュージックサーバーを使ってサーバーに保存されているファイルを再生するには、あらかじめサーバーが本機を認証（許可）している必要があります。認証（許可）方法は接続しているサーバーによって異なります。詳しくはサーバーの取扱説明書をご覧ください。

パソコンや他機器の音楽ファイルを再生する

ネットワークに接続する

詳しくは 7 ページをご覧ください。

ミュージックサーバーから再生する

重要

- Windows のネットワーク環境で、ドメインが構成されている場合、ドメインにログオンしているとパソコンに接続できません。ドメインではなくローカルマシンにログオンしてください。
- 再生経過時間が正しく表示されないことがあります。

1 ミュージックサーバー入力に切り換える

リモコンの **MUSIC SERVER ボタン**を押します。
本体の **FUNCTION ボタン**を繰り返し押すことでも入力を切り換えることができます。
ディスプレイに使用可能なサーバーが表示されます。

- 使用可能なサーバーがないときは、ディスプレイに [Empty] が表示されます。

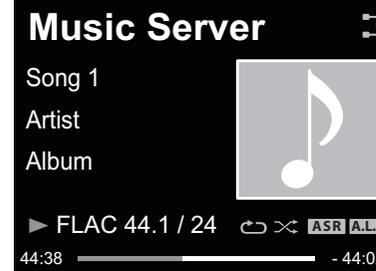
2 再生したいファイルのあるサーバーを選んで決定する

⬆/⬇ ボタンで選んで、**ENTER ボタン**を押します。
ディスプレイに、サーバーに保存されているフォルダー / ファイルが表示されます。

- 再生したいファイルがフォルダー内にあるときは、フォルダーを選びます。

3 再生したいファイルを選んで決定する

⬆/⬇ ボタンで選んで、**ENTER ボタン**を押します。
再生が始まります。

- 再生中に **RETURN ボタン**を押すと、1 つ前のフォルダー / ファイル選択画面に戻ります。

本機のリモコンで 、下記の操作ができます。再生の状態によっては、下記の操作ができないことがあります。

ボタン	動作
►/II	一時停止を解除して、再生を開始します。ファイル選択画面で押すと、現在再生中の画面が表示されます。再生中は再生を一時停止します。
■	再生を停止します。
I◄◄	1 つ前のファイルを頭出しします。
►►I	次のファイルを頭出しします。
SHUFFLE	サーバーのファイルを順不同に再生します。
REPEAT	サーバーのファイルを繰り返し再生します。*
➡	ファイル選択画面で押すと、現在再生中の曲の画面が表示されます。

* 押すたびに 1 曲リピート（）、全曲リピート（）、リピートオフが切り換わります。

いろいろな機能を使う

サウンドモードを使用して再生する

N-50 のみ
さまざまなサウンドモードを使用して再生することができます。

- PURE AUDIO モードがオンのときは使用できません。
- サウンドモードはアナログ音声にのみ効果があります。

1 サウンドモードを表示させる
リモコンの **SOUND ボタン**を押します。

2 項目を選んで決定する
↑/↓ ボタンで選んで、**ENTER ボタン**を押します。

3 設定を変更する
↑/↓ ボタンでオン / オフを切り換えて、**ENTER ボタン**を押します。

- 工場出荷時の設定はすべてオフとなっております。

項目	説明
Auto Sound Retriever （オートサウンドレトリバー機能）	圧縮音声は圧縮処理される際、削除されてしまう部分が発生します。オートサウンドレトリバー機能をオンにすると、その削除されてしまった部分を補い、音の密度感、抑揚感を向上させます。 オンを選ぶと、ミュージックサーバー入力や USB メモリー、インターネットラジオから入力されたコンテンツのビットレート情報を元に、サウンドレトリバーの効果を最適化し、高音質化します。
Auto Level Control （オートレベルコントロール機能）	音量差を本機で自動的に均一にして再生します。また、小音量のコンテンツを再生しているときに聞き取りにくくなる低音、高音、セリフなどを最適に調節します。
Hi-bit 32	デジタル音声信号への、ダイナミックレンジの拡大を行います。16 bit から 24 bit までの音声を 32 bit に再量子化することで、より滑らかで繊細な音楽表現を可能にします。
Sound Retriever Air （サウンドレトリバーエアー機能）	*Bluetooth* 機能対応機器の音楽を再生する際、*Bluetooth* 伝送による音質の悪化を補正します。BT オーディオおよび Air Jam 入力のときに選択できます。

原音に忠実な再生を行う

N-50 のみ
PURE AUDIO モードにすることで、DSP を通さず、最短経路で音声出力を行います。ノイズを減らして原音に忠実な再生を行います。

1 PURE AUDIO モードのオン / オフを切り換える
リモコンの **PURE AUDIO ボタン**を押すたびに切り換わります。

本機を D/A コンバーターとして使用する

N-50 のみ
本機リアパネルの **DIGITAL IN** 端子および **DIGITAL IN USB** 端子に入力したデジタル音声信号を **ANALOG OUT** 端子からアナログ変換して出力できます。

デジタル機器からの音声信号を再生する

DIGITAL IN 端子（**COAXIAL** または **OPTICAL**）に入力したデジタル音声を出力します。

1 デジタル入力機器を接続する
6 ページの「デジタル音声入力接続」をご覧ください。

2 Digital In 1 または Digital In 2 入力に切り換える
リモコンの **DIG IN 1 ボタン**または **DIG IN 2 ボタン**を押します。本体の **FUNCTION ボタン**を繰り返し押すことでも入力を切り換えることができます。
Digital In 1 では **COAXIAL** 端子から、Digital In 2 では **OPTICAL** 端子からのデジタル入力信号を再生します。

> **メモ**
> - 本機が入力できるデジタル信号は、サンプリングレートと量子化ビット数が 192 kHz/24 bit までのリニア PCM 信号です（接続機器や環境によっては動作しないことがあります）。

パソコンからの音声信号を再生する

本機リアパネルの **DIGITAL IN USB** 端子に入力したデジタル音声を出力します。

1 パソコンを USB ケーブルで接続する
7 ページの「USB ケーブルを使ってパソコンと接続する」をご覧ください。

2 Digital In USB 入力に切り換える
リモコンの **DIG IN USB ボタン**を押します。本体の **FUNCTION ボタン**を繰り返し押すことでも入力を切り換えることができます。

3 パソコンで音楽を再生する

> **メモ**
> - USB ケーブルで本機とパソコンを接続して音楽ファイルを再生する場合、本機が入力できるデジタル信号は以下のリニア PCM 信号です。
>   - 量子化ビット数：16 bit、24 bit、32 bit
>   - サンプリングレート：44.1 kHz、48 kHz、88.2 kHz、96 kHz、192 kHz
> - Digital In USB 入力のときは、**DIGITAL OUT** 端子からの音声出力ができません。
> - 本機での再生操作はできませんので、パソコン側で再生操作を行ってください。
> - USB 端子を抜くときは必ずパソコンでの再生操作を終了してから抜いてください。
> - ご使用のパソコンが USB 2.0 HS 規格に準拠していないと、音声が出ない場合があります。
> - 本機は USB ハブには対応していません。パソコンと直接接続してください。

> **重要**
> - **DIGITAL IN USB** 端子を使ってパソコンの音楽ファイルを本機で再生する場合、ご使用のパソコンに専用のドライバーをインストールする必要があります。詳しくはパイオニアのホームページをご覧ください。

各種設定

本体設定

1　本体設定画面を表示する
SETUP ボタンを押します。

2　項目を選んで決定する
⬆/⬇ ボタンで選んで、ENTER ボタンを押します。

3　設定を変更する
ディスプレイの表示に従って操作してください。

太字はお買い上げ時の設定です。

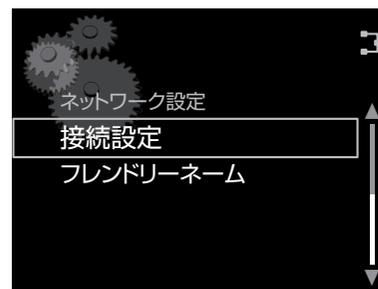
設定		説明
ディスプレイ設定 (**Level3**/Level2/Level1)		ディスプレイの明るさを選びます。
ネットワーク設定	接続設定	詳しくは「ネットワークの設定をする」（下記）をご覧ください。
	フレンドリーネーム	ネットワークに接続したパソコンや他機器に表示される本機の名前を変更します。 （18 ページ） お買い上げ時の設定は **N-50** または **N-30** です。
オプション設定	BT PIN 切替 (**0000**/1234/8888)	*Bluetooth* PIN コードを選びます。（12 ページ）
	インターネットペアレンタルロック （パスワード変更 / インターネットペアレンタルロック）	インターネットラジオを聞くときのパスワードを設定します。 [インターネットペアレンタルロック] で [On]/[Off] を選んで、[パスワード変更] で設定します。（18 ページ）
	パワーオフ設定 （オートパワーオフ / 高速起動モード）	• [オートパワーオフ] を [**On**] に設定しているときは、30 分以上操作がないと本機の電源が自動でオフ（スタンバイ）になります。 • [高速起動モード] を [On] に設定すると、電源オンにかかる時間が短縮されます。また、AirPlay の再生動作によって自動で電源がオンになります。ただし、[**Off**] の設定のほうが待機時消費電力を抑えることができます。
	言語 （**英語** / 日本語 / その他の言語 ）	ディスプレイの表示言語を切り換えます。 その他の言語：フランス語、ドイツ語、オランダ語、イタリア語、スペイン語、ロシア語
	ソフトウェアアップデート	本機のソフトウェアを更新します。
システム情報		本機の詳細情報を確認します。以下の項目が確認できます。 「LAN 接続状態」、「MAC Address」、「IP Address」、「Gateway Address」、「Proxy Server 設定」、「Subnet Mask」、「本機のソフトウェアバージョン（Release ID）」
初期化		本機に設定されているすべての設定を工場出荷時の状態に戻します。

ネットワークの設定をする

DHCP サーバー機能のあるルーターと本機を接続するときは、DHCP サーバー機能をオンにするだけで、ネットワークの設定を手動でする必要はありません。DHCP サーバー機能がないルーターに接続しているときのみ以下のネットワークの設定を行います。設定の際はプロバイダー、またはネットワーク管理者からの設定値を確認してから設定してください。
ネットワーク上の機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

- DHCP サーバー機能がないルーターの設定が変更になったときは、本機の設定も変更してください。

1　本体設定画面を表示する
SETUP ボタンを押します。

2　[ネットワーク設定] → [接続設定] を選んで決定する
⬆/⬇ ボタンで選んで、ENTER ボタンを押します。

3　[DHCP オフ] を選んで決定する
⬆/⬇ ボタンで選んで、ENTER ボタンを押します。
IP アドレス設定画面が表示されます。

4　IP アドレスを入力して決定する
⬆/⬇/⬅/➡ ボタンまたは数字ボタンで入力して、ENTER ボタンを押します。

- ⬅/➡ ボタンでカーソルが移動します。
- ⬆/⬇ ボタンで数字が変わります。

[IP アドレス]
入力する IP アドレスは下記の範囲で設定してください。下記以外の IP アドレスではミュージックサーバーやインターネットラジオを再生できません。
CLASS A: 10.0.0.1 ～ 10.255.255.254
CLASS B:172.16.0.1 ～ 172.31.255.254
CLASS C: 192.168.0.1 ～ 192.168.255.254

[サブネットマスク]
xDSL モデムやターミナルアダプターを直接本機に接続している場合は、プロバイダーから書面などで通知されたサブネットマスクを入力します。通常は 255.255.255.0 が入ります。

[ゲートウェイアドレス]
ゲートウェイ（ルーター）に接続している場合は、その IP アドレスを入力します。

[DNS(1st)]/[DNS(2nd)]
プロバイダーから書面などで通知された DNS アドレスが 1 つの場合は、[DNS(1st)] に入力してください。2 つ以上の場合は、もう 1 つを [DNS(2nd)] に入力してください。

[プロキシ設定]
インターネットにプロキシサーバーを経由して接続するときは [利用する] を選びます。[プロキシサーバーアドレス] にはプロキシサーバーのアドレスまたはドメイン名を入力してください。[ポート番号] にはプロキシサーバーのポート番号を入力してください。

各種設定

フレンドリーネーム

ネットワークに接続したパソコンや他機器に表示される本機の名前を変更します。

1 [ネットワーク設定]→[フレンドリーネーム]を選んで決定する
SETUP ボタンを押して、↑/↓ ボタンで選んで ENTER ボタンを押します。

2 フレンドリーネーム入力して決定する
↑/↓/←/→ ボタンで入力して、ENTER ボタンを押します。
- ←/→ ボタンでカーソルが移動します。
- ↑/↓ ボタンで文字が変わります。
- SOUND ボタンで文字の種類が切り換わります。
- CLEAR ボタンで 1 つの文字を消去します。

ペアレンタルロック設定

インターネットラジオの視聴制限ができます。[インターネットペアレンタルロック] を [On] にすると、インターネットラジオを視聴するときに、パスワードの入力が必要になります。

インターネットペアレンタルロックのオン / オフを切り換える

1 本体設定画面を表示する
SETUP ボタンを押します。

2 [オプション設定] → [インターネットペアレンタルロック] → [インターネットペアレンタルロック] を選んで決定する
↑/↓ ボタンで選んで、ENTER ボタンを押します。

3 パスワードを入力する
↑/↓/←/→ ボタン、または数字ボタンで入力して、ENTER ボタンを押します。
- ←/→ ボタンでカーソルが移動します。
- ↑/↓ ボタンで文字が変わります。
- CLEAR ボタンで 1 つの文字を消去します。
- お買い上げ時のパスワードは [0000] に設定されています。

4 [On] または [Off] を選んで決定する
↑/↓ ボタンで選んで、ENTER ボタンを押します。

パスワードを変更する

1 本体設定画面を表示する
SETUP ボタンを押します。

2 [オプション設定] → [インターネットペアレンタルロック] → [パスワード変更] を選んで決定する
↑/↓ ボタンで選んで、ENTER ボタンを押します。

3 現在のパスワードを入力する
↑/↓/←/→ ボタン、または数字ボタンで入力して、ENTER ボタンを押します。

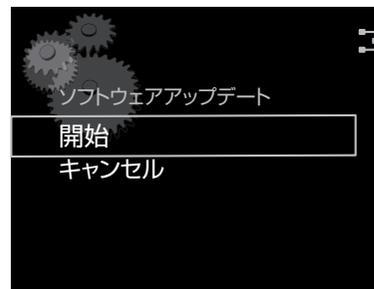
4 新しいパスワードを入力する
↑/↓/←/→ ボタン、または数字ボタンで入力して、ENTER ボタンを押します。
- RETURN ボタンを押すと、1 つ前の画面に戻ります。

ソフトウェアアップデート

USB メモリーを使って、本機のソフトウェアを更新できます。
パソコンでダウンロードした更新ファイルを USB メモリーに書き込み、USB メモリーを本体前面部の USB 端子に接続します。
- パイオニアのホームページからパソコンに更新ファイルをダウンロードしてください。ダウンロードした更新ファイルは ZIP 形式ですが、ZIP を解凍してから USB メモリーに書き込んでください。また、USB メモリーには他のファイルやフォルダーを入れないでください。

> **重要**
> - 更新中は絶対に電源プラグおよび USB メモリーを抜かないでください。故障の原因となります。

1 本体設定画面を表示する
SETUP ボタンを押します。

2 [オプション設定] → [ソフトウェアアップデート] → [開始] を選んで決定する
↑/↓ ボタンで選んで、ENTER ボタンを押します。

3 [OK] が選ばれるので、決定する
ENTER ボタンを押します。
表示が一度消えて、約 20 秒後に更新画面が表示され、更新が開始されます。
- 更新が完了すると、本機は自動で再起動されます。

ソフトウェアアップデートで表示されるエラーメッセージ

メッセージ	内容
ファイルが見つかりません	USB メモリー内に更新ファイルが見つかりません。更新ファイルは USB メモリーのルートディレクトリに保存してください。

パワーオフ設定

電源のオン / オフに関する設定を行います。

オートパワーオフ設定を変更する

本機は工場出荷時の設定でオートパワーオフ設定が [On] になっているため、30 分間なにも操作がなかったときは自動で電源が切れます。この機能を [Off] にしたいときは以下の操作を行います。

1 本体設定画面を表示する
SETUP ボタンを押します。

2 [オプション設定] → [パワーオフ設定] → [オートパワーオフ] を選んで決定する
↑/↓ ボタンで選んで、ENTER ボタンを押します。

3 [On] または [Off] を選んで決定する
↑/↓ ボタンで選んで、ENTER ボタンを押します。

高速起動モードを変更する

高速起動モードを [On] にすることで、電源オンにかかる時間を短縮させることができます。また、AirPlay または DMR の再生動作に連動して自動で電源がオンになります。ただし、[Off] に設定している方が待機時消費電力を抑えることができます。工場出荷時は [Off] に設定されています。

1 本体設定画面を表示する
SETUP ボタンを押します。

2 [オプション設定]→[パワーオフ設定]→[高速起動モード] を選んで決定する
↑/↓ ボタンで選んで、ENTER ボタンを押します。

3 [On] または [Off] を選んで決定する
↑/↓ ボタンで選んで、ENTER ボタンを押します。

すべての設定をお買い上げ時の設定に戻す

> **重要**
> - 操作する前に本機に接続している機器をすべて取り外してください。

1 本体設定画面を表示する
SETUP ボタンを押します。

2 [初期化] を選んで決定する
↑/↓ ボタンで選んで、ENTER ボタンを押します。
ディスプレイに**初期化してよろしいですか？**と表示されます。

3 [OK] が選ばれるので、初期化を行う
SETUP ボタンを押します。初期化が行われ、本機の電源がスタンバイ状態になります。

その他

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったらチェックしてみてください。ちょっとした操作ミスが故障と思われがちです。また、本機以外の原因も考えられます。ご使用の他の機器および同時に使用している電気機器もあわせてお調べください。以下の項目に従って再度点検されても直らないときは、お買い求めの販売店またはお近くのサービスステーションにお問い合わせください。

- 静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しないことがあります。このようなときは、電源コードを一度抜いて再び差し込むことで正常動作になる場合があります。これで解決しないときは、お買い求めの販売店または最寄りのサービスステーションにご相談ください。

一般

症状	原因 / 対策	参照ページ
電源をオンにできない。	[高速起動モード] を [On] にしているときに電源コードを抜くと、次回電源コードを接続したときに 1 分程度操作できなくなります。1 分以上待ってからリモコンの ⏻ STANDBY/ON ボタンを押してください。	18
電源が入るまで時間がかかる。	本機は工場出荷時の状態の場合、電源が入るまで約 1 分ほどかかります。[パワーオフ設定] の [高速起動モード] を [On] に変更することで、電源が入るまでの時間を短くできます。ただし、[Off] に設定している方が待機時消費電力を抑えることができます。	18
電源が自動でオフになる。	[パワーオフ設定] の [オートパワーオフ] が [On] に設定されていませんか。[オートパワーオフ] を [Off] に設定してください。	18
電源が突然切れて STANDBY インジケーターが点滅する。	本機の回路故障です。 すみやかに使用を停止し、修理を依頼してください。この症状の後に、電源の ON/OFF を繰り返すのはおやめください。	裏表紙
設定が消えてしまった。	電源を突然切っていませんか。電源を切るときは、リモコンの ⏻ STANDBY/ON ボタンを押してスタンバイ状態にしてから、本体の ⏻/I STANDBY/ON ボタンを押して、本体前面部の STANDBY インジケーターが消えてから電源コードを抜いてください。	—
MP3、WMA、iPod/iPhone/iPad、外部入力（Digital In 1、2、USB）で音量差を感じる。	入力機器や記録方式の違いにより音量差を感じることがあります。	—
リモコンで操作できない。	• 本機から離れた場所で操作していませんか。リモコン受光部との距離が 7 m の範囲で操作してください。 • リモコン受光部に直射日光や蛍光灯などの強い光が当たっていませんか。リモコン受光部に直射日光や蛍光灯などの強い光が当たると、リモコンの信号を受けにくくなることがあります。 • リモコンの電池がなくなっていませんか？新しい電池に換えてください。	5

iPod/iPhone/iPad

症状	原因 / 対策	参照ページ
iPod/iPhone/iPad を操作できない。	• iPod/iPhone/iPad が正しく接続されているか確認してください。また、iPod/iPhone/iPad を接続し直してください。 • 接続されている iPod/iPhone/iPad が本機に対応しているか確認してください。 • iPod/iPhone/iPad 本体がハングアップしている可能性があります。iPod/iPhone/iPad をリセットして接続し直してください。	10
iPod/iPhone/iPad に電力が供給されない。	本体前面のディスプレイにエラーが表示されていませんか。本機の電源をオフ（スタンバイ）にしてから、iPod/iPhone/iPad を外し、接続し直してから本機の電源をオンにしてください。	10
iPod/iPnoe/iPad の音声が、本機から出力されない。	iPod/iPhone/iPad のスピーカーから音声が出力されていませんか。本機の電源を入れ直し、iPod 入力にしてから、iPod/iPhone/iPad を接続してください。	—

Bluetooth

症状	原因 / 対策	参照ページ
Bluetooth 機能搭載機器と接続できない、操作できない、音が出ない、音がとぎれる。	• 2.4 GHz 帯の電磁波を発する機器（電子レンジ、無線 LAN 機器、他の *Bluetooth* 機能搭載機器など）が近くにありませんか？これらの機器から本機を離して設置するか、電磁波を発する他の機器の使用をおやめください。 • *Bluetooth* 機能搭載機器と本機が離れすぎていたり、間に障害物がありませんか？同じ部屋で障害物のない、見通し距離 10 m 以内に設置してください（見通し通信距離は目安です。周辺環境により通信距離が変わる場合があります）。 • *Bluetooth* 機能搭載機器が *Bluetooth* 無線通信できる状態になっていますか？ *Bluetooth* 機能搭載機器の設定を確認してください。 • ペアリングが正しく行われていなかったり、本機か *Bluetooth* 機能搭載機器側のどちらかでペアリングの設定を消去しませんでしたか？再度ペアリングの操作を行ってください。 • 接続したい機器はプロファイルに対応していますか？ A2DP および AVRCP に対応した *Bluetooth* 機能搭載機器を使用してください。	12
「BT エラー 5」と表示され、操作できない。	• *Bluetooth* アダプターが故障しているかもしれません。本機の電源をオフにし、*Bluetooth* アダプターを抜いてから再度電源をオンしてください。症状が改善された場合は、*Bluetooth* アダプターの故障が考えられるため、修理を依頼してください。	裏表紙

Digital In USB (パソコンとの USB 接続)

症状	原因 / 対策	参照ページ
DIGITAL IN USB 端子で USB 接続しているパソコンの音楽ファイルが再生できない。	DIGITAL IN USB 端子でパソコンと本機を USB 接続し、Digital In USB 入力で音楽ファイルを再生する場合は、パイオニアホームページより専用のドライバーをダウンロードして、パソコンにインストールする必要があります。ドライバーのインストール方法については、パイオニアホームページをご覧ください。	—
パソコンで再生操作をしても、音が出ない。	• OS やアプリケーションなどの音量設定は上がっていますか？必要に応じて音量の設定を上げてください。 • OS の音声出力がミュート設定になっていませんか？ミュート設定を解除してください。 • 複数のアプリケーションを同時に起動していませんか？使っていないアプリケーションは終了してください。 • OS またはアプリケーションの音声出力先を正しく設定していますか？サウンドデバイスに「Pioneer USB Audio Device」を選択してください。	—

その他

USB

症状	原因 / 対策	参照ページ
USB メモリーを認識できない。	• USB メモリーが正しく接続されていますか。奥までしっかり差し込んでください。 • 本機は USB ハブには対応していません。USB メモリーは直接接続してください。 • 本機が USB メモリーを不正な機器と認識していることがあります。一度本機の電源をスタンバイにしてから、再びオンにしてください。 • USB メモリーは、USB マスストレージクラスに属していますか。USB マスストレージクラスに属する USB メモリーをお使いください（ただし、USB マスストレージクラスに属する USB メモリーであっても、本機で再生できないものもあります）。 • USB メモリーのフォーマットが、FAT16 または FAT32 であるか確認してください。FAT12、NTFS、HFS は本機で再生できません。 • 本機は外付けハードディスクドライブには対応していません。	11
USB メモリーを接続していて画面には表示されるが再生できない。	• ファイルに DRM コピープロテクト（著作権保護）がかかっていませんか？著作権保護のかかった WMA や MPEG-4 AAC のファイルは再生することができません。パソコンなどで CD などの音楽データを取り込む場合、設定によっては著作権保護がかかることがあります。 • 本機で再生できるファイル形式か確認してください。	23
USB メモリーを認識するのに時間がかかる。	容量が大きい USB メモリーの場合、認識するまで時間がかかることがあります。	—
USB メモリーに電力が供給されない。	本体前面のディスプレイにエラーが表示されていませんか。 • 電源を入れ直してください。 • 本機の電源をオフ（スタンバイ）にしてから、USB メモリーを外して、接続し直してください。 • **FUNCTION ボタン**を押して USB 以外の入力に切り換えてから、もう一度 **FUNCTION ボタン**で USB 入力に戻してください。	11

ネットワーク

症状	原因 / 対策	参照ページ
ネットワークに接続できない。	LAN ケーブルが抜けていませんか。LAN ケーブルを正しく接続してください。	7
	ルーターの電源がオフになっていませんか。ルーターの電源を入れてください。	
パソコンなどのネットワーク上の機器の音楽ファイルが再生できない。	接続している機器にインターネットセキュリティーソフトウェアなどがインストールされている場合、機器に接続できないことがあります。	—
	本機の電源がオンの状態で、電源がオフだったネットワーク上の機器の電源をオンにしていませんか。本機の電源をオンにする前にネットワーク上の機器の電源をオンにしておいてください。	—
	接続している機器の設定が正しくされているか確認してください。クライアントを自動で承認（許可）したときは、改めて入力する必要があります。接続の設定が「許可しない」になっていないか確認してください。	—
	接続している機器に再生できるファイルがない場合は、保存されているファイルを確認してください。	—
再生が始まらない。	接続している機器の電源や接続が切れていませんか。接続している機器の電源や接続を確認してください。	—
パソコンおよびインターネットラジオが正しく動作しない。	IP アドレスは正しく設定されていますか。ルーターの DHCP サーバー機能をオンにするか、ネットワーク環境に合わせて、本機の IP アドレス、プロキシを手動で設定してください。	17
	IP アドレスを自動設定している場合、時間がかかります。しばらくお待ちください。	—
パソコンなどのネットワーク上の機器の音楽ファイルが再生できない。	パソコンに Windows Media Player11 または 12 がインストールされているか確認してください。	—
	音楽ファイルが、MP3 、WAV（LPCM のみ）、MPEG-4AAC、FLAC、WMA 形式で記録されているか確認してください。それらのファイルであっても本機で再生できないこともあります。	—
	Windows Media Player 11 または 12 で MPEG-4 AAC や FLAC ファイルを再生しようとしていませんか。Windows Media Player 11 または 12 では MPEG-4 AAC や FLAC ファイルを再生することはできません。他のサーバーを使用してください。	—
	ネットワークに接続している機器が待機状態やスリープモードになっていないか確認してください。必要に応じて再起動してみてください。	—
	ネットワークに接続している機器がファイルの共有を許可していない場合は、接続している機器の設定を変更してください。	—
	ネットワークに接続している機器のフォルダーが削除または破損していませんか。フォルダーを確認してください。	—
	ネットワークに接続している機器の設定で接続が制限されている場合があります。ネットワークに接続している機器の接続やセキュリティの設定を確認してください。	—
Windows Media Player 11 または 12 に接続できない。	OS に Windows XP または Windows7 を使用しているパソコンで、ドメインにログオンしていませんか。ドメインではなく、ローカルマシンにログオンしてください。	—
音声が自動で停止したり乱れたりする。	本機で再生できるファイル形式か確認してください。本機で再生できる拡張子がついたファイルでも再生できないことや表示されないことがあります。	22
	フォルダーが壊れていないか確認してください。	—
	LAN ケーブルが抜けていませんか。LAN ケーブルを正しく接続してください。	7
	同一ネットワーク上でインターネット通信が行われているなど、ネットワークの通信が混雑していませんか。ネットワーク上の機器と接続するときは 100BASE-TX をご使用ください。	—
	無線 LAN を経由していませんか。 • 無線 LAN で使用する 2.4 GHz 帯の帯域が不足している可能性があります。無線 LAN を経由しない有線 LAN で接続してください。 • 2.4 GHz 帯の電磁波を発する機器（電子レンジ、ゲーム機など）を離して設置してください。それでも改善されないときは電磁波を発する他の機器の使用をおやめください。	7

その他

症状	原因 / 対策	参照ページ
インターネットラジオが再生できない。	ネットワーク機器のファイアウォールの設定を確認してください。	—
	インターネットの接続が切断されていませんか。ネットワーク機器の設定が正しいか確認し、必要に応じてネットワーク接続業者にお問い合わせください。	—
	ラジオ局の放送が中止、中断されている場合があります。放送局リストで選択できる放送局でも再生できないことがあります。	—

無線 LAN コンバーター

症状	原因 / 対策	参照ページ
無線 LAN 経由でネットワークにアクセスできない。	無線 LAN コンバーターの電源が入っていない。（無線 LAN コンバーターの「Power」、「WPS」および「Wireless」ランプすべてが点灯していない。） • 無線 LAN コンバーターと本機の DC OUTPUT for WIRELESS LAN 端子を接続している USB ケーブルが正しく接続されているか確認してください。	—
	本機の表示窓に「Error 8」が表示される。 • 無線 LAN コンバーター用の電源に問題があります。本機の電源をオフにしてから、USB ケーブルを抜き、再度 USB ケーブルを差し、本機の電源をオンにしてください。 • 上記操作を数回繰り返しても、「Error 8」が表示される場合は、本機か USB ケーブルに問題があります。電源コードを抜いて修理を依頼してください。	—
	LAN ケーブルを接続していない。 • 無線 LAN コンバーターと本機の LAN (10/100) 端子を LAN ケーブルで正しく接続してください。	7
	無線 LAN コンバーターと無線 LAN ルーターなどの親機との間に距離があったり、障害物がある。 • 無線 LAN コンバーターと親機との距離を近づけるなど無線 LAN 環境を改善してください。	—
	電子レンジなど電磁波が発生する近くに無線 LAN 環境がある。 • 電子レンジなど電磁波が発生する場所から離して使用してください。 • 無線 LAN で使用するときは、電磁波が発生する機器をなるべく使用しないようにしてください。	—
	複数の無線 LAN コンバーターを無線 LAN ルーターに接続している。 • 複数の無線 LAN コンバーターを接続する場合は、無線 LAN コンバーターの IP アドレスを変更する必要があります。たとえば、無線 LAN ルーターの IP アドレスが「192.168.1.1.」のときは、1 つめの無線 LAN コンバーターの IP アドレスを「192.168.1.249」、2 つめの無線 LAN コンバーターの IP アドレスを「192.168.1.248」にし、「249」「248」と、無線 LAN コンバーター同士や他の機器と重複しない 2 ～ 249 の値を設定してください。	—
	無線 LAN コンバーターと無線 LAN ルーターなどの親機との無線 LAN 接続ができていない。 • 無線 LAN コンバーターを本機に接続した状態で、本機の電源を切ってから電源コードをコンセントから抜き差しし、その後本機の電源を入れてください。	—

症状	原因 / 対策	参照ページ
無線 LAN 経由でネットワークにアクセスできない。	本機と無線 LAN コンバーターの IP アドレス設定が無線 LAN ルーターなどの設定と合っていない。 • 本機と無線 LAN コンバーターの IP アドレス設定 (DHCP の設定を含む) を確認してください。本機の DHCP 設定を ON にしているときは、本機の電源を OFF にし、再度電源を ON にしてください。本機や無線 LAN コンバーターの IP アドレスが無線 LAN ルーターなどの設定と合っているかを確認してください。本機の DHCP 設定を OFF にしているときは、無線 LAN ルーターなどの親機のネットワークに合った IP アドレスを設定してください。たとえば、無線 LAN ルーターの IP アドレスが「192.168.1.1.」のときは、本機の IP アドレスを「192.168.1.XXX」(*1)、サブネットマスクを「255.255.255.0」、ゲートウェイや DNS は「192.168.1.1.」に設定してください。次に、無線 LAN コンバーターの IP アドレスを「192.168.1.249」(*2) に設定してください。 (*1)「192.168.1.XXX」の「XXX」には、他の機器と重複しない 2 ～ 248 の値を設定してください。 (*2)「192.168.1.249」の「249」には、他の機器と重複しない 2 ～ 249 の値を設定してください。	—
	無線 LAN コンバーターの詳細設定をしてみる。 • 無線 LAN コンバーターをパソコンに接続して、無線 LAN の詳細設定ができます。詳しくは、無線 LAN コンバーター用に付属している CD-ROM を確認してください。無線 LAN ルーターなどの設定を確認のうえ、無線 LAN コンバーターの設定を変更してください。ただし、無線 LAN の詳細設定で無線 LAN 環境が改善できるとは限りません。設定変更にはご注意ください。	—
	アクセスポイントが SSID を隠す設定をしている。 • この場合、アクセスポイントのリスト画面に表示されないことがあります。表示されない場合は、本機側の無線 LAN コンバーターのマニュアル設定で SSID 等を設定してください。	—
	アクセスポイントのセキュリティ設定が、WEP の 152 bit 長の暗号 KEY または SHARED KEY 認証を使用している。 • 無線 LAN コンバーター（AS-WL300）は、WEP の 152 bit 長の暗号 KEY ならびに SHARED KEY 認証には対応しておりません。	—
	上記の対処をしてもネットワーク接続できない。 • 無線 LAN コンバーターを初期化してください。その後、無線 LAN コンバーターの設定をやり直してください。 初期化について 1. 無線 LAN コンバーターの電源が入っていることを確認してください。 2. 無線 LAN コンバーターのリセットボタンを 3 秒以上押してください。 3. リセットボタンを放す。 無線 LAN コンバーターが再起動したら、初期化の完了です。	—

再生できるファイル

音声ファイルの再生について

本機は以下のファイル形式に対応しています。

- 本機が対応している形式のファイルでも再生できないことがあります。
- 本機が対応していない形式のファイルを再生すると、音声がとぎれたりノイズが出ることがあります。このときは、本機が対応しているファイル形式か確認してください。
- 対応しているファイル形式は接続している機器（サーバー）によって異なります。接続している機器が対応していない形式のファイルは表示されません。 詳しくは、お使いの機器（サーバー）のメーカーにお問い合わせください。
- サーバーによっては本機が対応していないファイル形式を変換して出力できるものもあります。詳しくは、サーバーの取扱説明書をご確認ください。
- インターネットラジオの再生はインターネット通信環境の影響を受けることがあります。このときは、下記のファイル形式でも再生できないことがあります。

ファイルの種類	拡張子	ストリーム		
MP3[*1]	.mp3	MPEG-1/2 Audio Layer-3	サンプリング周波数	32 kHz ～ 48 kHz
			量子化ビット数	16 ビット
			チャンネル数	2 チャンネル
			ビットレート	8 kbps ～ 320 kbps
			VBR/CBR	対応 / 対応
LPCM	—[*2]	LPCM	サンプリング周波数	32 kHz ～ 48 kHz (Internet Radio)
				44.1 kHz、48 kHz、88.2 kHz、96 kHz、192 kHz (Digital In USB)
			量子化ビット数	16 ビット (Internet Radio)
				16 ビット、24 ビット、32 ビット (Digital In USB)
			チャンネル数	2 チャンネル
WAV	.wav	LPCM	サンプリング周波数	32 kHz ～ 192 kHz (ミュージックサーバー)
				32 kHz ～ 96 kHz (USB)
			量子化ビット数	16 ビット、20 ビット、24 ビット
			チャンネル数	2 チャンネル
WMA	.wma	WMA2/7/8/9	サンプリング周波数	32 kHz ～ 48 kHz
			量子化ビット数	16 ビット
			チャンネル数	2 チャンネル
			ビットレート	5 kbps ～ 320 kbps
			VBR/CBR	対応 / 対応
AAC	.m4a .aac .3gp .3g2	MPEG-4 AAC LC MPEG-4 HE AAC (AAC Plus v1/2)	サンプリング周波数	32 kHz ～ 48 kHz
			量子化ビット数	16 ビット
			チャンネル数	2 チャンネル
			ビットレート	16 kbps ～ 320 kbps
			VBR/CBR	対応 / 対応
FLAC	.flac	FLAC	サンプリング周波数	32 kHz ～ 192 kHz (ミュージックサーバー)
				32 kHz ～ 96 kHz (USB)
			量子化ビット数	16 ビット、24 ビット
			チャンネル数	2 チャンネル

[*1] MPEG Layer-3 音声復号化技術は、Fraunhofer IIS および Thomson multimedia からライセンスされています。
[*2] ストリーミングデータのみ対応のため、拡張子はありません。

使用上のご注意

本機を移動するとき

本機を移動する場合は、iPod/USB 端子に接続した機器をはじめ、すべての機器を取り外してください。

さらにリモコンの ⏻ STANDBY/ON ボタンを押してスタンバイ状態にしてから本体の ⏻/I STANDBY/ON ボタンを押し、本体前面部の STANDBY インジケーターが消えてから電源コードを抜いてください。iPod/USB 端子など、本機の端子に機器を接続したまま移動すると故障の原因となります。

設置する場所

- 組み合わせて使用するテレビやステレオシステムの近くの安定した場所を選んでください。
- テレビやカラーモニターの上に本機を設置しないでください。また、カセットデッキなど、磁気の影響を受けやすい機器とは離して設置してください。
- 次のような場所は避けてください
  - 直射日光のあたる所
  - 湿気の多い所や風通しの悪い所
  - 水がかかりやすい場所
  - 極端に暑い所や寒い所
  - 振動のある所
  - ホコリの多い所
  - 油煙、蒸気、熱があたる所（台所など）

上に物を載せない

本機の上に物を載せないでください。

通気孔をふさがない

毛足の長い敷物やベッド、ソファーの上などで使用したり、本機を布などでくるんで使用しないでください。放熱を妨げ、故障の原因となります。

熱を受けないように

本機をアンプなど、熱を発生する機器の上に載せないでください。ラックに入れる場合はアンプや他のオーディオ機器から出る熱を避けるため、アンプよりできるだけ下の棚に入れてください。

本機を使わないときは電源を切る

本機の電源がオンのときに、電波の状態によってはテレビ画面にしま模様が出たり、ラジオの音声に雑音が入ることがあります。このようなときは [高速起動モード] を [オフ] にして、本機の電源を切ってください。

製品のお手入れについて

- 本体は柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは水で 5 ～ 6 倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞り、汚れを拭き取ったあと乾いた布で拭いてください。
- アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがあります。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせるとキャビネットを傷めます。
- 化学ぞうきんなどを使うときは、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよく読んでください。
- お手入れするときは、電源コードをコンセントから抜いてください。

ネットワークを使った再生について

インターネットラジオやミュージックサーバーの再生には下記の技術が使われています。

Windows Media Player

Windows Media Player 11 および Windows Media Player 12 について、詳しくは 15 ページをご覧ください。

Windows Media Audio（WMA）ファイルの再生について

- 米国 Microsoft Corporation によって開発された音声圧縮技術です。
- Windows Media Player Ver.7、7.1、Windows Media Player for WindowsXP、または Windows Media Player 9Series を使ってエンコードできます。
- Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- 米国 Microsoft Corporation の認証を受けたアプリケーションを使ってエンコードしてください。認証されていないアプリケーションを使うと正しく動作しないことがあります。

その他

Windows Media DRM

Windows Media デジタル著作権管理 (DRM)(以下、WMDRM) は、コンピューター、デジタルオーディオプレーヤー、ネットワーク機器などの再生を防いだり、デジタルコンテンツを安全に配信するためのプラットフォームです。ミュージックサーバーのネットワークオーディオでは、WMDRM 10 for networked devices に基づいて機能します。WMDRM で保護されたコンテンツはWMDRM の機能を有するメディアサーバーと接続したときのみ再生できます。

コンテンツ所有者は、著作権を含む知的所有権を保護するために Windows Media デジタル著作権管理テクノロジー (WMDRM) を使用します。本製品は、WMDRM で保護されたコンテンツにアクセスするために WMDRM ソフトウェアを使用します。WMDRM ソフトウェアがコンテンツの保護に失敗した場合、コンテンツ所有者は保護されたコンテンツの再生やコピーのために WMDRM を使用しているソフトウェアの能力を無効にするよう、マイクロソフトに要請することがあります。無効化は、保護されていないコンテンツには影響を与えません。保護されたコンテンツに対するライセンスをダウンロードするときは、マイクロソフトがそのライセンスと一緒に失効リストを含ませることがあることに同意する必要があります。コンテンツ所有者は、それらのコンテンツのアクセスに対して WMDRM をアップグレードすることを要求することがあります。もしもアップグレードを断ると、アップグレードを要求するコンテンツへアクセスすることができなくなります。

本製品は、米国 Microsoft Corporation の知的所有権により保護されています。米国 Microsoft Corporation の許可を得ずにこの技術を本製品以外で使用または頒布することは禁じられています。

DLNA

DLNA CERTIFIED® Audio Player

Digital Living Network Alliance (デジタル・リビング・ネットワーク・アライアンス) の略です。ローカルエリアネットワーク (LAN) 上で接続した、メーカーの異なるパソコンやデジタル家電の動画、音楽、または画像データなどを相互で視聴できるようにするためのデータの圧縮方式や転送方式の標準化を進めている団体の名称です。

本機は DLNA Home Networked Device Interoperability Guidelines v1.5 に準じています。

DLNA® および DLNA CERTIFIED® は Digital Living Network Alliance の商標です。

ネットワークを使って再生できるもの

- 本機が対応している形式のファイルでも再生できないことがあります。
- 画像 / 動画ファイルは再生できません。
- 放送局リストで選択できる放送局でも再生できないことや、再生の状態が不安定になることがあります。
- 接続している機器の種類やソフトウェアのバージョンによって働かない機能があります。
- 対応しているファイルの形式は接続している機器によって異なります。接続している機器が対応していない形式のファイルは表示されません。詳しくはお使いの機器のメーカーにお問い合わせください。

ネットワークを使った外部コンテンツのご利用について

- 外部コンテンツのアクセスには高速インターネットへの接続が必要であり、プロバイダーへの登録や契約が必要となります。第三者が提供するコンテンツのサービスは、予告なく、変更、中断、中止される可能性があり、パイオニアは、そのような事態に対していかなる責任も負いません。パイオニアは、外部コンテンツの提供サービスの継続や利用可能期間について、いかなる保証もしません。

ネットワークを使った再生時の動作について

- 接続している機器の性能や状態によって再生が停止したり、正しく再生できないことがあります。
- ネットワークの通信が混雑していると、ファイルが表示されない、または再生できないことがあります。ネットワーク上の機器と接続するときは 100BASE-TX のご利用をお勧めします。
- ネットワーク上の複数の機器が同じファイルを同時に再生すると、再生が停止することがあります。
- 接続している機器にインターネットセキュリティーソフトウェアなどがインストールされているとネットワークに接続できないことがあります。

当社は、本機とネットワーク上で接続している機器の不具合やファイルまたはデータの破損などに関して、一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。接続している機器のメーカー、またはプロバイダーにお問い合わせください。

本製品は、米国 Microsoft Corporation が所有する技術を使用しています。また、米国 Microsoft Licensing Inc. の許可を得ずに使用または頒布できません。

Microsoft®、Windows®7、Windows®Vista、Windows®XP、Windows®2000、Windows®Millennium Edition、Windows®98、WindowsNT® は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

aacPlus

AAC デコーダーは、Coding Technologies によって開発された aacPlus を使用しています。
(www.codingtechnologies.com)

FLAC ライセンスについて

FLAC Decoder
Copyright © 2000, 2001, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006, 2007
Josh Coalson
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

iPod/iPhone/iPad について

Made for
iPod iPhone iPad

- 「Made for iPod」、「Made for iPhone」および「Made for iPad」とは、それぞれ iPod、iPhone あるいは iPad 専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。このアクセサリを iPod、iPhone あるいは iPad と使用することにより、無線の性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。

- Apple、AirPlay、iPad、iPod touch、iPod、iTunes および Mac は米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- AirPlay ロゴは Apple Inc. の商標です。

保証とアフターサービス

修理に関するご質問、ご相談

裏表紙に記載の修理受付窓口、またはお買い求めの販売店にご相談ください。

保証書（別添）について

保証書は必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで大切に保管してください。

保証期間はご購入日から 1 年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、最低 8 年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

19 ～ 21 ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し必ず電源プラグを抜いてから、お買い求めの販売店にご連絡ください。ご転居されたり、ご贈答品などで、お買い求めの販売店に修理のご依頼ができない場合は、「ご相談窓口のご案内・修理窓口のご案内」（裏表紙）をご覧になり、修理受付窓口にご相談ください。

ご連絡いただきたい内容

- ご住所
- お名前
- お電話番号
- 製品名：ネットワークオーディオプレーヤー
  型番：N-50/N-30
- お買い上げ日
- 故障または異常の内容（できるだけ具体的に）

保証期間中は

修理に際しては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社の保証規定に基づき修理いたします。

保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

本機は一般家庭用機器として作られたものです。一般家庭用以外（たとえば、飲食店等での営業用の長時間使用、車両、船舶への搭載使用）で使用し、故障した場合は、保証期間内でも有償修理を承ります。

愛情点検

長年ご使用のAV機器の点検を!

このような症状はありませんか		ご使用中止	
	・ACアダプターが異常に熱くなる。 ・電源コードにさけめやひび割れがある。 ・電源が入ったり切れたりする。 ・本体から異常な音、熱、臭いがする。	➡ ご使用中止	故障や事故防止のため、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店にご相談ください。

K026_A_Ja

サービス拠点のご案内

※番号をよくお確かめの上でおかけいただきますようお願いいたします

サービス拠点への電話は、修理受付窓口でお受けします。（沖縄県の方は沖縄サービス認定店）
また、認定店は不在の場合もございますので、持ち込みをご希望のお客様は修理受付窓口にご確認ください。

●北海道地区

受付 月～金 9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付 9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

拠点	FAX	〒	住所
☆北海道サービスセンター	FAX 011-611-5694	〒064-0822	札幌市中央区北2条西20-1-3 クワザワビル
旭川サービス認定店	FAX 0166-55-7207	〒070-0831	旭川市旭町1条1丁目438-89
帯広サービス認定店	FAX 0155-23-7757	〒080-0015	帯広市西5条南28丁目1-1
函館サービス認定店	FAX 0138-40-6473	〒041-0811	函館市富岡町2-18-7

●東北地区

受付 月～金 9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付 9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

拠点	FAX	〒	住所
☆東北サービスセンター	FAX 022-375-4996	〒981-3121	仙台市泉区上谷刈6-10-26
山形サービス認定店	FAX 023-615-1627	〒990-0023	山形市松波1-8-17
郡山サービス認定店	FAX 024-991-7466	〒963-8861	郡山市鶴見坦1-9-25 クレールアヴェニュー伊藤第2ビル1F D号
盛岡サービス認定店	FAX 019-656-7648	〒020-0051	盛岡市下太田下川原153-1
青森サービス認定店	FAX 017-735-2438	〒030-0821	青森市勝田2-16-10
八戸サービス認定店	FAX 0178-44-3351	〒031-0802	八戸市小中野3-16-8
秋田サービス認定店	FAX 018-869-7401	〒010-0802	秋田市外旭川字梶の目345-1

●東京都内

受付 月～土 9:30～18:00（日・祝・弊社休業日は除く）

拠点	FAX	〒	住所
世田谷サービスステーション	FAX 03-5357-0770	〒156-0055	世田谷区船橋5-28-6 吉崎ビル1F
北東京サービスステーション	FAX 03-3944-7800	〒170-0002	豊島区巣鴨1-9-4 第三久保ビル1F
多摩サービスステーション	FAX 042-524-5947	〒190-0003	立川市栄町4-18-1 エクセル立川1F

●関東・甲信越地区

受付 月～金 9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付 9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

拠点	FAX	〒	住所
☆千葉サービスステーション	FAX 047-773-9354	〒275-0016	習志野市津田沼3-20-22
☆北関東サービスセンター	FAX 048-651-8030	〒331-0812	さいたま市北区宮原町1-310-1
水戸サービス認定店	FAX 029-248-1306	〒310-0844	水戸市住吉町307-4
宇都宮サービス認定店	FAX 028-657-5882	〒321-0912	宇都宮市石井町3373-21
群馬サービス認定店	FAX 0270-22-1859	〒372-0801	伊勢崎市宮子町1191-17 パサージュ808伊勢崎101号
新潟サービス認定店	FAX 025-374-5756	〒950-0982	新潟市中央区堀之内南1-20-11
佐渡サービス指定店 横山電機商会	FAX 0259-63-3400	〒952-1209	佐渡市金井町千種1158-1
☆南関東サービスセンター	FAX 045-943-3788	〒224-0037	横浜市都筑区茅ヶ崎南2-18-1 ベルデユール茅ヶ崎
神奈川西サービス認定店	FAX 046-231-1209	〒243-0422	海老名市中新田4-10-53 中山ビル1F
三宅島サービス指定店 勝見電機	FAX 04994-6-1246	〒100-1211	三宅村大字坪田
松本サービス認定店	FAX 0263-48-0575	〒390-0852	松本市大字島立180-5 パイオニア松本拠点1F
長野サービス認定店	FAX 026-229-5250	〒380-0935	長野市中御所1-24
甲府サービス認定店	FAX 055-228-8003	〒400-0035	甲府市飯田4-9-14

●中部地区

受付 月～金 9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付 9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

拠点	FAX	〒	住所
☆中部サービスセンター	FAX 052-532-1148	〒451-0063	名古屋市西区押切2-8-18
岡崎サービス認定店	FAX 0564-33-7080	〒444-0931	岡崎市大和町字荒田36-1 大和ビレッジB-1
津サービス認定店	FAX 059-213-6712	〒514-0821	津市垂水522-5
岐阜サービス認定店	FAX 058-274-5256	〒500-8384	岐阜市薮田南4-2-10
静岡サービス認定店	FAX 054-236-4063	〒422-8034	静岡市駿河区高松1-17-17
沼津サービス認定店	FAX 055-967-8455	〒410-0876	沼津市北今沢12-7
浜松サービス認定店	FAX 053-422-1401	〒430-0912	浜松市中区茄子町355-1
金沢サービス認定店	FAX 076-240-0550	〒920-0362	金沢市古府3-60-1 K2ビル1F
富山サービス認定店	FAX 076-425-3027	〒939-8211	富山市二口町1-7-1
福井サービス認定店	FAX 0776-27-1768	〒910-0001	福井市大願寺3-5-9

●関西地区

受付 月～金 9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付 9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

拠点	FAX	〒	住所
☆関西サービスセンター	FAX 06-6310-9120	〒564-0052	吹田市広芝町5-8
神戸サービス認定店	FAX 078-265-0832	〒651-0093	神戸市中央区二宮町1丁目10-1 ローレル三宮ノースアベニュー1F
姫路サービス認定店	FAX 0792-51-2656	〒671-0224	姫路市別所町佐土1-126
和歌山サービス認定店	FAX 0734-46-3026	〒641-0014	和歌山市毛見1126-4
京都サービス認定店	FAX 075-644-7975	〒601-8444	京都市南区西九条森本町4 イッツアイランド1F
奈良サービス認定店	FAX 0742-50-0889	〒630-8141	奈良市南京終町1-174-2
福知山サービス認定店	FAX 0773-24-5375	〒620-0055	福知山市篠尾新町2-74 カマハチマンション

●中国・四国地区

受付 月～金 9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付 9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

拠点	FAX	〒	住所
☆中四国サービスセンター	FAX 082-534-5859	〒733-0003	広島市西区三篠町2-4-22 NKビル1F
岡山サービス認定店	FAX 086-250-2724	〒700-0975	岡山市北区今3-10-10 備前ビル1F
松江サービス認定店	FAX 0852-22-7779	〒690-0017	松江市西津田4-5-40 （有）テクピット内
福山サービス認定店	FAX 0849-31-2791	〒720-0815	福山市野上町3-12-9
鳥取サービス認定店	FAX 0857-28-8011	〒680-0934	鳥取市徳尾422-2
徳山サービス認定店	FAX 0834-33-5759	〒745-0006	周南市花畠町3-11 森広事務所1F
高松サービス認定店	FAX 087-813-6112	〒760-0080	高松市木太町862-1
徳島サービス認定店	FAX 088-669-6076	〒770-8023	徳島市勝占町中須92-1 大松ジョリカ地下1階107号
高知サービス認定店	FAX 088-802-3321	〒780-0051	高知市愛宕町3-12-13 晃栄ビル1F
松山サービス認定店	FAX 089-911-5608	〒791-8013	松山市山越5-12-8

●九州地区

受付 月～金 9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付 9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

拠点	FAX	〒	住所
☆九州サービスセンター	FAX 092-412-7460	〒812-0016	福岡市博多区博多駅南2-1-9 ヤマエ博多駅南ビル1F
北九州サービス認定店	FAX 093-941-8354	〒802-0044	北九州市小倉北区熊本1丁目9-4 植田ビル1F
博多サービス認定店	FAX 092-461-1643	〒812-0006	福岡市博多区上牟田2-6-7
西九州サービス認定店	FAX 0952-20-1991	〒840-0201	佐賀市大和町大字尼寺2688-1
長崎サービス認定店	FAX 095-849-4606	〒852-8145	長崎市昭和1丁目12-10 クリスタルハイツ平野
熊本サービス認定店	FAX 096-331-3323	〒861-2118	熊本市花立4-9-31
大分サービス認定店	FAX 097-551-2049	〒870-0921	大分市萩原3-23-15 日商ビル101
宮崎サービス認定店	FAX 0985-27-3136	〒880-0821	宮崎市浮城町98-1
鹿児島サービス認定店	FAX 099-201-3803	〒890-0034	鹿児島市田上6丁目29-55

●沖縄県

受付 月～金 9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）

拠点	TEL/FAX	〒	住所
沖縄サービス認定店	TEL 098-987-1120 FAX 098-987-1121	〒902-0073	那覇市上間413 琉電アパート1-5

平成23年7月現在　　記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。

製品のお手入れについて

通常は、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどい場合は５～６倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞り、汚れを拭き取ったあと乾いた布で拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗料などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所へのおもいやりを十分にいたしましょう。ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には特に気を配りましょう。近所へ音が漏れないように窓を閉めたりするのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

その他

仕様

一般

形式……ネットワークオーディオプレーヤー
電源……AC100 V、50 Hz/60 Hz
消費電力
　N-50……34 W
　N-30……31 W
待機時消費電力……0.3 W
本体質量
　N-50……7.3 kg
　N-30……5.0 kg
外形寸法（幅）x（高さ）x（奥行）
　N-50……435 mm x 99 mm x 330 mm
　N-30……435 mm x 97.5 mm x 330 mm
許容動作温度……＋5 ℃～＋35 ℃
許容動作湿度……5 %～85 %

ネットワーク部

LAN 端子……100Base-TX/10Base-T
DLNA……Ver1.5(DMP/DMR)

音声出力 (2ch)

音声出力レベル……2 V rms（1 kHz、0 dB)
出力端子……RCA 端子ステレオ
周波数特性……4 Hz~80 kHz −3dB
S/N 比 (1kHz、0dB、fs 192kHz)……＞111 dB
ダイナミックレンジ (1kHz、0dB、fs 192kHz)
……＞111 dB
全高調波歪率 (1kHz、0dB、fs 192kHz)
……<0.002 %
Channel Separation (1kHz、0dB、fs 192kHz)
……＞105 dB

デジタル音声出力

光デジタル出力……光デジタル端子
同軸デジタル出力……RCA 端子

デジタル音声入力 (N-50 のみ)

光デジタル入力……光デジタル端子
同軸デジタル入力……RCA 端子
USB タイプ B……USB 2.0HS

付属品

リモコン……1
単 4 形乾電池 (AAA/R03)……2
オーディオコード……1
保証書……1
お知らせ
(本機をはじめてご使用になるお客様へのお知らせ)……1
電源コード
取扱説明書（本書）

> **メモ**
> - 上記の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。
> - 記載の社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

<各窓口へのお問い合わせの時のご注意>
「0120」で始まる フリーコールおよび フリーコールは、携帯電話・PHS・一部のＩＰ電話などからは、ご使用になれません。
また、【一般電話】は、携帯電話・PHS・ＩＰ電話などからご利用可能ですが、通話料がかかります。
正確なご相談対応のために折り返しお電話をさせていただくことがございますので発信者番号の通知にご協力いただきますようお願いいたします。

ご相談窓口のご案内 ※番号をよくお確かめの上でおかけいただきますようお願いいたします

パイオニア商品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

商品についてのご相談窓口

● 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーコール）

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■家庭用オーディオ/ビジュアル商品　0120−944−222　一般電話　044−572−8102
■ファックス　044−572−8103
■インターネットホームページ　http://pioneer.jp/support/
※商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など

修理窓口のご案内 ※番号をよくお確かめの上でおかけいただきますようお願いいたします

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の『故障かな？と思ったら』を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、①型名②ご購入日③故障症状を具体的に、ご連絡ください。

修理についてのご相談窓口

● お買い求めの販売店に修理の依頼が出来ない場合

修理受付窓口

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■電話　0120−5−81028（ゴーハイオニア）　一般電話　044−572−8100
■ファックス　0120−5−81029
■インターネットホームページ　http://pioneer.jp/support/repair/
※家庭用オーディオ/ビジュアル商品はインターネットによる修理のお申し込みを受付けております

沖縄サービス認定店（沖縄県のみ）

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■一般電話　098−987−1120
■ファックス　098−987−1121

部品のご購入についてのご相談窓口

● 部品（付属品、リモコン、取扱説明書など）のご購入について

部品受注センター

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■電話　0120−5−81095　一般電話　044−572−8107
■ファックス　0120−5−81096

平成23年7月現在　記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。　VOL.045

パイオニア株式会社　〒212-0031 神奈川県川崎市幸区新小倉1番1号

<5707-00000-612-1S>